



会長エレクトローニングセミナー（PELS）

日時：2025年3月22日（土）10：30～

会場：寒河江市中央公民館（寒河江市）

国際ロータリー第 2800 地区
2024-2025 年度

ガバナー 芳賀康雄

ガバナーエレクト 小松栄一



事務局 〒994-0027 天童市桜町 2-20
tel 023-687-0208 / fax 023-687-0209
e-mail office@rid2800.org

ロータリーの基本理念

100年以上にわたり、私たちはロータリーの価値観と伝統をあらゆる基本理念にしたがって行動してきました。「ロータリーの目的」「四つのテスト」「5大奉仕部門」は、奉仕（Service）、親睦（Fellowship）、多様性（Diversity）、高潔性（Integrity）、リーダーシップ（Leadership）という私たちの中核的価値観をあらわしています。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの公式標語

「超我の奉仕（Service Above Self）」

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる(One Profits Most Who Serves Best)」

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って 行動する世界を目指しています。

行動計画

1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的なかかわりを促す
4. 適応力を高める

目次

1. 次第
2. 次年度の方針
 - ガバナーエレクトプロフィール
 - RI会長エレクトプロフィール・RI会長エレクトメッセージ
 - RIとR財団の年次目標
 - 第2800地区行動計画推進リーダー
 - 基本方針
 - それぞれの最上川ものがたり 第3章
 - 数値目標・ガバナー賞
 - クラブ会長エレクトの皆様へ
 - 次期クラブ幹事の皆様へ
3. 公式訪問日程（案）
4. 決議事項（案）・申し合わせ事項（案）
地区資金予算（案）・地区大会予算（案） ・ガバナーエレクト予算（案）
5. 地区委員会方針
6. 原稿提出のお願い・原稿提出について・各種書式
7. 今後の予定・事務局からのお願い
8. 年間スケジュール（案）
9. 組織図（案）
10. クラブの健康チェック
11. My ROTARY のアカウントを作成する方法
12. 国際ロータリー関連連絡先一覧

会長エレクトローニングセミナー（PELS）

日時：2025年3月22日（土）10：30 開会

場所：寒河江市中央公民館

		司会：次期地区事務局長	沖 津 博
10:00	登録		
10:30	開会点鐘	ガバナーエレクト	小 松 栄 一
	開会の挨拶	PELS 実行委員長	奥 山 吉 一
	国歌斉唱	ソングリーダー	水 戸 部 秀 雄
	ロータリーソング「奉仕の理想」		
	ガバナー挨拶	ガバナー	芳 賀 康 雄
	ガバナーエレクト挨拶 及び 地区チーム紹介	ガバナーエレクト	小 松 栄 一
10:50	次期ラーニングファシリテーター挨拶	次期地区ラーニングファシリテーター	伊 藤 三 之
	PELS の目的について	次期地区研修サブリーダー	大 久 保 章 宏
		次期地区研修サブリーダー	齋 藤 榮 助
11:10	国際協議会報告	ガバナーエレクト	小 松 栄 一
	2025-26 年度 R I 目標 及び 次期地区基本方針		
12:10	次期地区資金予算（案）・地区大会予算（案）	次期地区資金委員長	高 橋 恒 之
	次期ガバナーエレクト地区資金予算（案）について	2026-27 年度地区資金委員長	伊 藤 吉 明
	諸事連絡		
12:20	～ 休憩・移動 ～		
13:00	クラブ会長の役割と責務	ガバナーエレクト	小 松 栄 一
	地区チームとクラブとの連携について		
13:45	次期地区委員長挨拶「事業の意義と達成に向けて」		次期各委員長
	クラブ奉仕委員会 ロータリー情報委員会 会員増強委員会 公共イメージ委員会 職業奉仕委員会 青少年奉仕委員会 インターアクト委員会 R Y L A 委員会 青少年交換委員会 ローターアクト委員会（RA 委員長・RA 代表） 米山奨学・米山学友委員会 地域奉仕委員会 国際奉仕・ロータリー学友委員会 補助金・奉仕プロジェクト委員会		
	危機管理に関する情報		
	質疑応答		
16:00	～ 休憩・移動 ～		
16:15	次期ガバナー補佐とクラブ会長エレクトとの検討会	次期ガバナー補佐・クラブ会長エレクト	
	※別会場にて「地区研修・協議会」についての協議（GE、PG、次期ファシリテーター、次期地区委員長）		
16:45	検討会報告		次期各ガバナー補佐
17:10	地区研修・協議会について	地区研修・協議会実行委員長	古 澤 康 太 郎
	次期地区大会について	次期地区大会実行委員長	安 藤 博 章
	チャリティーゴルフコンペについて	実行委員長	秋 場 秀 俊
17:15	総括	次期地区ラーニングファシリテーター・直前G	伊 藤 三 之
17:20	閉会点鐘	ガバナーエレクト	小 松 栄 一
	諸事連絡		

次期ガバナー補佐とクラブ会長エレクトとの検討会

NO	グループ	RC	ガバナー補佐		連絡先	携帯
1	第1グループ	5	酒田中央RC	いけだ けんいち 池田 健一	ikedak1@cameo.plala.or.jp	090-9421-9866
2	第2グループ	5	鶴岡RC	にしかわ とみこ 西川 富美子	nishikawa@hanayuubi-nihonkai.com	090-6227-6617
3	第3グループ	5	天童RC	すとう さとし 須藤 智	nots@sutou.co.jp	090-3363-3720
		7	村山ローズRC	こむろ あつし 小室 淳	komuro582014@gmail.com	090-7066-8642
4	第4グループ	5	河北RC	わだ よしひろ 和田 義弘	cleanmaster@outlook.jp	090-6785-9383
5	第5グループ	5	山形北RC	いとう あきひこ 伊藤 明彦	cpaito@ma.catvy.ne.jp	090-3362-0428
		7	上山RC	えだまつ ゆうこ 枝松 祐子	kaminoyama08@gmail.com	080-3323-7407
6	第6グループ	5	高畠RC	かねこ よしひろ 金子 良弘	yoshi@m3.dewa.or.jp	090-3364-6784
		7	長井中央RC	たなか はじめ 田中 元	genkikun@coral.ocn.ne.jp	090-4636-2256

ガバナーエレクト プロフィール



小松 栄一 (こまつ えいいち)

所属クラブ 寒河江ロータリークラブ
生年月日 1956年(昭和31年)9月10日
勤務先 医療法人 小松医院 理事長
住所 〒991-0031 寒河江市本町2丁目11-40
携帯番号 080-3330-3184
E-mail m5a0m5e4@ic-net.or.jp

学歴・職歴

1981年 北里大学医学部 卒業
1982年5月 山形大学医学部医員
1986年7月 山形大学医学部文部教官助手
1988年9月 医療法人小松医院勤務
1991年4月 医療法人小松医院理事長
1991年4月 社会福祉法人松寿会理事長

主なロータリー歴

1996年2月 寒河江ロータリークラブ 入会

(クラブ内 / 会長・幹事)

2010年-2011年 寒河江ロータリークラブ 幹事
2014年-2015年 寒河江ロータリークラブ 会長

(地区 / AG・委員長・委員)

2004年-2007年 地区青少年交換委員会小委員長
2008年-2010年 地区青少年交換委員会小委員長
2016年-2018年 地区ロータリー財団 補助金・奉仕プロジェクト委員会委員長
2018年-2019年 第4ブロックガバナー補佐
2019年-2020年 地区国際奉仕委員会委員長
2021年-2024年 地区ロータリー財団 補助金・奉仕プロジェクト委員会委員長
2011年-2017年 NPO 法人 RIJEC 研修委員
2018年-2024年 一般財団法人 RIJYEM 研修委員

ポール・ハリス・フェロー 大口寄付者 ベネファクター 米山功労者

RI 会長エレクトプロフィール



マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

2024-25 年度会長エレクト

Santo André ロータリークラブ

ブラジル、サンパウロ

印刷業界のビジネス・コンサルタントであり、父親が設立した印刷会社 Gráfica Bandeirantes の元取締役。

軍学校に通い、ロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州セントポールの高校を卒業。ドイツのオッフエンバッハにある印刷機メーカー、MAN Roland で 1 年間のインターンシップを経験、Fundación Getulio Vargas' São Paulo School of Business Administration より学士号を取得。また、サン・ベルナルド・ド・カンポ法科大学より法学士号を取得。

ブラジルのグラフィック技術協会やブラジル印刷産業協会（ABIGRAF）の会長など、数多くの専門家団体を率いた経験を有する。また、全国産業連盟のサンパウロ州産業連盟（FIESP）代表理事、FIESP 副会長、ラテンアメリカ印刷産業連盟副会長も歴任。フロリダ印刷協会から「Printing Leader of the Americas」賞、NPES（印刷・出版・加工技術サプライヤー協会）から「Global Presidential Print Award」を受賞。

1980 年、23 歳でロータリーに入会。理事と管理委員を歴任し、ブラジルで 4 番目の RI 会長として就任。RI ラーニングファシリテーター、Avoidable Blindness（回避可能な失明）タスクフォースのゾーンコーディネーター、健康問題のタスクフォース中南米コーディネーター、RI 会長代理、規定審議会代表議員など数多くの役割を歴任。また、RI 会員増強委員会、ロータリー財団プログラム財務委員会、国際ポリオプラス委員会にも貢献。

ロータリー財団特別功労賞を受賞。デニス夫人と共に、メジャードナー、ロータリー財団ベネファクター。



RI会長エレクト メッセージ

- UNITE FOR GOOD -

よいことのために手を取りあおう

昨年、2024-25年度ガバナーに、国際ロータリーの会長ノミネーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。会長エレクトとして、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが必要不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアの集まりです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。

今回は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマー・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

私は、健全な地区には、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、他の人々と力を合わせれば、さらに大きく世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEF といった団体とのパートナーシップは、230 億ドルを投じて 40 年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリー単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

つまり、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。まず第一に、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかの何れかであり、安定した会員基盤というものはありません。私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。これが、2025-26年度の会長メッセージです：

「UNITE FOR GOOD: よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

2024-2025 年度

国際ロータリーとロータリー財団の年次目標（行動計画）

優先事項 1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項 2「参加者の基盤を広げる」の目標

4. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
5. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
6. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
7. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項 3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

8. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
9. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
10. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先項目 4「適応力を高める」の目標

11. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
12. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

第2800地区区行動計画推進リーダー
(2024年度-2026年度)

グループ名	2024-2025 ガバナー補佐	2025-2026 ガバナー補佐	クラブ名	推進リーダー	2024-2025 役員	連絡先
第1グループ	工藤亜紀子 (酒田東)	池田 健一 (酒田中央)	酒田	阿部 敏和	直前会長	funaba88@nifty.com 090-8250-9164 ①0234-24-7877
			酒田東	渡部 芳久	会長	watabe-3@ic-net.or.jp ①0234-26-2332 ①0234-26-2333
			酒田中央	阿部 伸	直前会長	shim-a@hatakeyama-net.co.jp ①0234-22-9214 ①0234-22-0550
			酒田スロン	赤谷 典夫	会長	akatan@ic-net.or.jp 090-7072-9170 ①0234-23-4445
			酒田湊	庄司 豊	会長	shoji-y@orion.ocn.ne.jp ①0234-21-5166/090-4546-4263 ①0234-21-5165
			鶴岡	佐藤 詩郎	幹事・パスト会長	
第2グループ	五十嵐一彦 (鶴岡南)	西川富美子 (鶴岡)	鶴岡西	佐藤 正晴	会長	
			鶴岡東	剣持 大輔	会長	
			鶴岡南	菅原 剛	会長	
			余目	阿部 豊	パスト会長	
			天童	相澤 俊一	クラブ会報委員長(2025-26 副会長)	ペア・ロジコ株式会社 常務取締役 〒994-0067 天童市大字芳賀字桶ノ城457-1 ①023-655-1156
			天童東	相馬 勝博	国際奉仕委員長	ksk.soma@nifty.com ①090-3364-5985
第3グループA	石山 行雄 (東根)	須藤 智 (天童)	天童西			
			東根	菊地 仁士	次年度会長エレクト	h.kikuchi@marble.ocn.ne.jp ①090-7820-7454
			東根中央	太田 均		hitoshi-ohta4d@sonic-japan.co.jp ①090-4887-7343
			村山	荒木 秀昭	会長	
			新庄			
			尾花沢			
第3グループB	高橋 龍二 (尾花沢中央)	小室 淳 (村山ローズ)	最上	早坂 広行	会長	
			尾花沢中央	鈴木由美子	会長	
			村山ローズ	西塚 覚	会長	
			新庄あじさい	有路 明弘	会長	
			寒河江	遠藤 伸一	会長エレクト	tomo3210@ic-net.or.jp ①090-8922-4008
			寒河江さくらんぼ	佐藤 和典	会長エレクト	mast_kazu@yahoo.co.jp ①090-7521-9695
第4グループ	菊地 正憲 (大江)	和田 義弘 (河北)	大江	春日 茂	会長エレクト	shigerukasuga@yahoo.co.jp ①090-3363-8864
			西川月山	佐藤 仁	会長エレクト	jim-sati@ic-net.or.jp
			河北	田宮 智聡	会長エレクト	info@ykiko.com ①090-7794-5744
			山形	松澤 克則	公共イメージ委員長	医療法人社団小白川至誠堂病院 理事長 〒990-0034 東原町1-12-26 ①641-6075
			山形南	中村 篤	中長期検討委員長	株式会社中村能登屋 代表取締役 〒990-0047 旅籠町1-12-42 ①622-2208 ①631-5089
			山形北	伊藤 誠	会長ノミニングネットワーク	城北電気工事株式会社 代表取締役 〒990-0832 城西町4-5-37 ①644-4176 ①644-4177
第5グループA	菊地 賀治 (山形南)	伊藤 明彦 (山形北)	山辺	海野 幸司	会長エレクト	有限会社フラーノコスモス 社長 〒990-0301 山辺204 ①665-7088 ①664-8680
			中山	小松 幸弘	パスト会長	小松建設株式会社 取締役会長 〒990-0054 六日町8-14 ①633-3761 ①633-3763
			山形西	五十嵐 信	会長エレクト	五十嵐物産株式会社 代表取締役 〒990-0071 流通センター3-5-1 ①633-2233 ①633-2252
			山形東	深瀬 俊路	会長	法昌院 代表役員 〒990-0033 諏訪町2-1-48 ①622-8695 ①622-8696
			山形イブニング	浦山 一豊	クラブ奉仕委員長	浦山社会保険労務士事務所 所長 〒990-0041 緑町4-26-27 ①633-3765 ①633-3959
			山形中央	小林 敏郎	社会奉仕委員長	株式会社朝日測量設計事務所 代表取締役 〒990-2412 松山3-5-15 ①632-8631 ①632-8632
第5グループB	長橋 正人 (山形中央)	枝松 祐子 (上山)	上山	枝松 祐子	地区委員長(インターアクト)	〒999-3153 上山市十日町6-17 ①080-3323-7407 ①672-0697
			米沢	小林 康廣	出席・スマイル小委員会副委員長	
			米沢中央	吉澤 彰浩	会長	
			米沢上杉	金丸 まゆ	会長ノミニ	
			米沢おしょうしな	高橋 正洋	職業奉仕・R情報大委員長	
			高畠	庄司 薫	会長エレクト	
第6グループA	五十嵐正明 (米沢上杉)	金子 良弘 (高畠)	長井			
			南陽	近野 永順	会長エレクト	090-3120-4564 ejunnkonno@gmail.com
			白鷹	青木 浩二	会長エレクト	090-8921-8368 ①0238-84-0667 ①0238-84-8306 kidukuri@aokihouse.co.jp
			小国			
			南陽東	梅津 秀樹	会長エレクト	080-5730-8717 h.umetsu@tohoku-denka.co.jp
			長井中央			
第6グループB	高橋 真己 (南陽東)	田中 元 (長井中央)	南陽臨雲			

2025-2026 RI District 2800

基本方針

良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために

また、2022年2月24日にロシアがウクライナに電撃的侵攻を開始しました。2023年10月7日にハマスの電撃ロケット攻撃に始まったパレスチナ・イスラエル戦争は泥沼の状態が続いています。それ以前から、世界中で分断の時代に突入したと言われていましたが、分断はあらゆる面に広がり、温暖化、人口問題（人口増、人口減いずれも）、食料、経済問題、感染症、ジェンダー、ハラスメント、世代間格差、アンコンシャスバイアス等々数えきれない分断の場面が浮かび上がります。これらの問題は、いずれも解決しなければ人類の存亡に直接影響を及ぼす問題であったり、人類の未来を左右する問題ばかりです。

そんな中であって、私たちロータリアンは何を求められ、何を為すべきなのでしょう。次年度からRI会長テーマとロゴがなくなり、メッセージが発せられる事となりましたが、マリオ RI 会長エレクトは、彼のメッセージを「UNITE FOR GOOD : 良いことのために手を取りあおう」としました。このメッセージに込められた意味は何でしょうか。RI 理事会は、行動計画の策定から3年が過ぎ、その見直しをする予定で、情報収集をしていましたが、そこで明らかになったのは、行動計画の浸透度が低いということです。地区レベルはもちろんですが、クラブレベルで言うと、ほとんど浸透していないというのが現状だろうという結果だったようです。そこで、RI 理事会と戦略計画委員会は、行動計画の見直しを止め、今後その浸透を図る方針としたようです。そこで、今回の国際協議会では、すべての分科会のテーマが行動計画に関連するものとなりました。私が感じたことは、今後3年を目処に、行動計画、3YEAR ROLLING GOALS、クラブ戦略計画委員会設置をクラブに徹底する方針で、そのために My ROTARY を積極活用していくことになるということです。

RI は、会長テーマとロゴの廃止に際して、今後は行動計画がテーマであり単年度のテーマやロゴは廃止すると述べました。つまり、マリオ会長のメッセージ、UNITE FOR GOOD は、インパクトのある奉仕活動をするために、基盤を強化し、参加意識を高めることを意識しましょうというメッセージだと感じるのです。

マリオ RI 会長エレクトもお話になられましたが、ロータリーはボランティア団体であり、ボランティア団体としての質の向上とその存在の誇示が大事と言っています。チャリティーナビゲーターの評価が高いことを誇りにするのもその表れではないでしょうか。若い世代にはその方が評価されるということの様ですが、それだけでいいのでしょうか。

また、未来の夢計画が動き始めてから、RIの最重要関心事は会員増強一点に絞られました。そこから導き出されたのが戦略計画委員会によるビジョン声明と中核的価値観、戦略的優先事項（行動計画）などです。

私は、ロータリーの基本は「ロータリーの目的：object of Rotary」にあると教えられてきました。皆さんもロータリーの目的を十分理解されていると思いますが、今一度見直してみましよう。

ロータリーの目的とは？

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

これを読んで、皆さんは何を考えますか。

本文の「奉仕の理念を奨励し育む」とは、奉仕の理念とは何を意味するのか？

奉仕の理念とは、フランクリン・コリンズの言った「超我の奉仕：service above self」であり、アーサー・フレデリック・シェルドンによる「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる：Who profits most who serves best」に現されています。この二つのモットーを理解し、自分の行動に如何に取り入れるかを考えることが、私たちに求められていると考えます。ロータリーの目的では、その為に具体的に行うべきことを4つ例示しています。

第1：知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

この意味するところは、単に仲間を増やすだけではありません。奉仕する機会には、奉仕する場、奉仕のアイデア、奉仕の中身、奉仕に取り組む姿勢、奉仕の心の形成、自己研鑽の機会等、そして奉仕する仲間、色々なことが含まれていると考えます。クラブの中で、奉仕する機会を得ること、その機会を活用して奉仕の本質を学ぶことが求められています。

第2：職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

職業倫理の確立と維持、職業の平等と高潔性の維持。

第3：ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

奉仕の実践を説く。職業奉仕及び社会奉仕を実践する個人を育成することの重要性を説いたもの。

第4：奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。ロータリアン同士が、政治や宗教、歴史、言葉、肌の色、あらゆる垣根を超えて国際理解、親善、平和を推進するために協力し合うこと。

以前は、社会奉仕にインターアクトとローターアクト、RYLA が含まれていました。そして、国際奉仕に青少年交換プログラムが分類されていました。現在は、これらをまとめて青少年奉仕という第五の奉仕部門が作られたわけですので、ロータリーの目的にも第5項が追加されてもいいのですが、現在の所そういった動きはないようです。もしそうなれば、青少年育成のため、より良い未来を築くためにロータリアンが役割を果たすべきといった文言が考えられるのではないのでしょうか。

このロータリーの目的を毎月唱和している会員やクラブがあると思いますが、この目的を十分理解され、その達成のためにクラブ活動して頂きたい。このロータリーの目的を実践することによって、ロータリー活動は輝かしい成果を、私たちに、地域に、世界に、そして未来にもたらしてくれると考えます。

さて、話を戻しますが、世界中で格差拡大と多くの分断が発生していると述べましたが、その格差や分断を埋める方法はあるのでしょうか。私は、最終的には、チャレンジできる公平な環境を作ることが問題の解決につながるのではないかと考えます。そのためには、私たちが地域や世界中で格差の改善、分断解消のための活動を行うこと。特に若者に対する支援を積極的に行うことが必要なのではないかと考えます。

このような考えに基づいて、私の年度は、『良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために。』という地区目標を立てることに致しました。

クラブ活動で学んだことを応用し、地域での活動を活発化させて、地域の抱える問題を発掘しそしてその解決に挑んでいただきたい。また、皆さんの目を海外に向けて、世界中で困っている人がいる現状を（備）つぶさに見、手を差し伸べてほしい。それには、ロータリー財団や米山奨学会の存在が私たちの活動の手助けになるでしょう。また、若い人々の意見も取り入れ、新発想で地域の諸問題解決に挑んでいただきたいと考えます。

そして最後に、未来のために私たちができることを惜しみなく行いましょう。今が良ければそれでいいといった身勝手は人類の破滅、地球の破滅をもたらします。そうならないために何をすべきか考えてください。それは、職業奉仕でも、社会奉仕でも、国際奉仕でも、青

少年奉仕でもなんでもいいのです。クラブ活動を通じて奉仕の精神を学び、そして実際に活動しましょう。実践なきところに成果はない。ロータリアンは実践の徒なのです。その結果として、ロータリーの活動がさらに活発になり、それを見ている職業人や若者が私たちの考えに賛同してくれ、そして仲間が増える。さらに、ロータリーの活動が活発になる。そんな好循環を私たちは目指したいと思います。

ロータリーデー記念事業

それぞれの最上川ものがたり 第3章

最上川物語を提唱した伊藤三之助パストガバナーの言葉を引用します。

国際ロータリー第 2800 地区の対象エリアは、山形県全域です。幸いにも、私たちの地区は行政単位と一致した非常にまとまりのある地区構成です。

さて、山形県の母なる川、最上川。一つの都府県内で完結する河川としては日本一の長さ（229 キロ）を誇ります。米沢の西吾妻山を水源とし、県内の数多くの市町村内を流れ、酒田の日本海にそそぎ込みます。私たちの地区の第 1 グループから第 6 グループの全てを網羅しているのです。

<広き野をながれゆけども最上川 うみに入るまでにごらざりけり>

山形県民の歌「最上川」。この歌は、昭和天皇が皇太子でおられた大正 14 年に山形県に行啓されご覧になった最上川の様子を、その翌大正 15 年の歌会始においておよみになられたものです。

松尾芭蕉は「奥の細道」紀行（1689 年）で、次のような句を残しています。

<閑かさや 岩にしみ入る蟬の声>

<五月雨を あつめて早し最上川>

<暑き日を 海に入れたり最上川>

私たちのふるさと山形の山、川、海の、厳肅さ、清涼さ、雄大さを見事に表現しています。ふるさとの母なる川、最上川。いにしえより恵みを運ぶ大動脈。未来に豊かで美しい最上川を引き継いでいくために、最上川をステージにして、地区内全てのグループが一丸となって、環境をテーマにした何らかの事業を行っていきましょう。ロータリーデーの事業として地域社会に広報し、ロータリアンだけでなく、青少年を含む多くの地域の方々とともに汗をかい、最上川をとおして環境問題、そしてふるさとを考えてみましょう。

それぞれのロータリアンが、それぞれの最上川物語をつくりましょう。

今年で 3 年目になる最上川物語、伊藤パストガバナーが述べられた事に、皆さんは高い志を感じられたことでしょうか。その意義を考えるとときに私たちが意識することは、水は命の源であり、それを守ることが生命を守ることにつながるということだと考えます。

最近よく取り上げられるプラスチックゴミは、自然界では分解されるまで 100 年～200 年、もしくはそれ以上かかると言われています。プラスチックゴミが直接動物や海洋生物に取り込まれ命を奪う他、マイクロプラスチックと言われる微小なプラスチックのゴミとなり、もともと含まれる添加物が環境ホルモンとして悪さをしたり、有害物質を吸着してしまう性質

があります。これらが食物連鎖を通じて人体に取り込まれ、特に胎児や成長期の子供に悪影響を与えると考えられています。これ以外にも、未解明の有害物質の含まれた物が河川を通じて海にまで達し、いずれ私たちに逆襲するときが来るのをただ見ているだけでは手遅れになってしまいます。

先に述べたように、私たちは行動する職業人です。ロータリアンだけでなく、ロータリーファミリーや地域の方々と協力して郷土の誇りである、最上川の水をきれいに保つため、さまざまな活動を計画・実行して頂きたいと思います。

自然環境の保護再生プログラム（樹氷再生プログラムへの協力）

山形県のもう一つのシンボル蔵王の樹氷、その元となるアオモリトドマツの枯死が近年問題視されています。その原因は害虫による食害で、2万本ほどが枯れてしまいました。この再生に山形市が取り組んでいますが、芳賀ガバナーはこのプロジェクトに、ロータリーも協力していくことを考えられました。

この樹氷再生には、害虫の食害問題以外にも、地球温暖化との戦いも関係してきます。最近の樹氷をご覧になりなにか感じませんか。最近の樹氷は痩せています。完全な樹氷が形成されていないように見えます。また、樹氷の期間に雨が降り、樹氷が壊れてしまうこともよく聞きますし、樹氷の形成される範囲も縮小しています。これは地球温暖化による影響と考えられていますが、アオモリトドマツを植樹しても、温暖化が進めば、結局樹氷は消滅してしまうのです。

それぞれの最上川物語 第3章では、山形の、日本の、そして世界の自然を守るために、最上川の流域全体で活動することを目指しましょう。自然環境の保護や再生、ゴミ問題など様々な問題に地域ごとに取り組んで頂くようにしたいと考えます。

これらのことを総合して考え、最上川物語第3章では、良いことをしよう、地域や世界の自然と未来を守るためにと題し、最上川流域全てにおいて、つまり最上川に関わる山河全てを舞台として、地区内全てのクラブが社会奉仕事業を展開することを考えて頂きたいと思います。

地区重点事項

1. 2024-25年度国際ロータリーとロータリー財団の年次目標(行動計画)の理解

ロータリーのACTION PLAN（行動計画）は、これまでの成功を礎とし、ロータリーが今後も成長を続け、人びとをつなぎ、未永く続くインパクトをもたらすための将来の方向性を決めるものです。

ACTION PLANの優先事項の目標についてクラブや地区で話し合い、独自の戦略を立て奉仕プロジェクトに繋げましょう。

行動計画の四つの優先事項は以下の通りです。

(ア) より大きなインパクトをもたらす

どうすれば、人びとの人生を変える様なより良いことを世界で行っていただけるか？

(イ) 参加者の基盤を広げる

より多くの人にロータリーに入会してもらうにはどうすればよいか？ ロータリーと関わりのない人の参加をどう促すことができるか？

(ウ) 参加者の積極的なかかわりを促す

多様な人を歓迎し、活動の価値を見出してもらうためにはどうすればよいか？

(エ) 適応力を高める

急速に変化する世界でどのように重要性を保っていくことができるか？

ロータリー行動計画

行動を通じて 変化を生みだす

私たちは、ロータリーの歴史と伝統を大切にしながら、行動計画は、新しい方向性を定め、発展させていきます。ロータリー財団財源にも頼りていながら、世界をリードするロータリーを創り出すために、挑戦的な目標を設定します。

私たちは、自強を重視するためにあらゆるレベルで成長を続けています。今年からは、行動計画の四つの優先事項を定めます。ロータリー財団財源にも頼りていながら、世界をリードするロータリーを創り出すために、挑戦的な目標を設定します。

- インパクトをもたらす**
私たちは、重点分野に注ぎ最大のインパクトをもたらすプロジェクトにリソースを注ぎます。
私たちは、ロータリー財団財源を効果的に活用するのを助けるために、世界中で寄付、物資提供、研修、資金のサポートを積極的に提供して、貧困削減や社会開発に貢献しています。
- 基盤を広げる**
私たちは、あらゆる活動において「多様性・公平さ・インクルージョン」(DIEI) を受け入れ、実践することにコミットしています。
私たちは、各クラブに新しい血液を注ぎ、活動の幅を広げ、さらなる成長を促すことを目指しています。
- かかわりを促す**
私たちは、ロータリー会員であるかどうかを問わず、多様な価値観の考え方を促しています。
私たちは、どのような環境においても多様な人々を巻き込み、多様なアイデアを創出すること、さらなる多様な価値観を促すロータリーの活動を促すことに注力しています。
- 適応する**
私たちは、組織の俊敏性と対応力を高めるために運営の自動化を進めています。
私たちは、世界中の各地、ロータリー財団財源に注ぎロータリー財団財源を効果的に活用するのを助けるために、世界中で寄付、物資提供、研修、資金のサポートを積極的に提供して、貧困削減や社会開発に貢献しています。

クラブでできることは my.rotary.org/ja/jp/club に詳しくあります。

2. 3 year rolling Gals (targets)

国際ロータリー理事会は、活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけ、2024-2025年度を初年度とし、3年間のグローバルトライアルを行うことを決定し、地区やクラブに対し理解と協力を要請しています。実際に行う事項は次のようになります。

地区

1. ガバナーやガバナー補佐及び関連する地区委員長は、クラブセントラルでクラブの目標の達成度の進捗を管理し、必要に応じてサポートをおこないます。
2. クラブの3年間の目標作成をサポートできる体制を構築します。(マイロータリー登録、クラブセントラルの使い方、新クラブ設立のノウハウ、行動計画の知識習得等のセミナー開催など)
3. 3年間の目標達成の責任者(プランリーダー)を選任し、PG、AG、GN、GNDや担当の地区委員長を巻き込んだ幅広い議論の場を設けます。
4. また、「行動計画推進者(アクションプランチャンピオン)」を1名以上専任し、クラブへの理解浸透を図ります。

地区への研修実施などアドバイスが必要な場合は、各地域リーダー(ロータリーコーディネーター、アクションプラン推進者など)に依頼をお願いします。

クラブ

1. 3年間の目標入力と管理は、**クラブセントラル**でおこないます。

まずは、**次年度の目標を入力**してください。

次に、リンクボタンからファイル(3年間の目標フォーマットexcelファイル)をダウンロードして、3年間の目標を項目に従って入力して下さい。その後理事会等の承認を経てクラブ内で共有して下さい。

3年間の目標を設定するためには、クラブ戦略計画委員会、理事会、向こう3年間の会長候補者や委員長などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があります。

(継続性)

2. 3年間の目標を立てたら、毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標を再設定して下さい。**(Rolling goals)** また、4半期ごとに進捗や達成度の管理を行なって下さい。

目標設定の項目は「ロータリーの行動計画(アクションプラン)」が基準になりますので、行動計画の知識習得、理解が必要です。習得また再習得が必要な場合はこのサイトの「行動計画(方

針)のページ]をご覧ください。またラーニングセンターの活用や地区リーダーへの相談やアドバイスを求めて下さい。(RIの目標との整合性を図る)

3. クラブ活性化

ロータリー活動の基本はクラブ例会にあります。友情を培い、仲間を広め、自分にはない何かを得ようとする。「奉仕の理念」を探究し、職業倫理の何たるかを学び、世界に視野を広げる。若者との交流を通じ、未来を展望する。その全ての始まりがロータリークラブの活動に含まれています。例会が私たちの活動の場で、そこで多くのことを学びます。例会が充実していれば、会員の満足度は上がり、さらに活動の場も増えていくでしょう。充実した例会、充実した奉仕活動を通して、それぞれのクラブの活性化を図りましょう。その中で、もともと大切な役割を担うのがクラブ会長です。クラブ会長がクラブの方向性を考えますが、最近国際ロータリーは継続性や計画性を重要視しています。直前会長、会長、会長エレクト、そして可能ならば会長ノミニーまで含めたクラブの将来を考える体制を構築してください。

4. 会員増強・公共イメージ向上

人口減少時代に会員増強を目指すことは大変なことであると言えます。しかし、会員候補者はロータリーを通じて何をしたいのか、会員はロータリーで何を得たのか、会員と会員候補者や入会間もない会員が語り合うことで、ロータリーに対する関心が高まり、更にはロータリー活動を理解できるようになります。そしてロータリーを共に楽しむ仲間を増やしたいと考えるようになってきます。老いも若きもロータリー談義を交わし、ロータリーを楽しむ仲間を増やしましょう。そして、私たちの活動を積極的に地域に発信していきましょう。ここで注意すべき点は、誰を対象に情報発信をするかという事です。中高年向けには既存のメディアの活用が有効ですが、若者向けにはSNSの活用をもっと考えましょう。有効な広報活動が行われる事によって、ロータリークラブのイメージが上向き、仲間になりたい人も増えてきます。各クラブ2名以上、地区としては100名以上の純増を目指しましょう。

5. ロータリーを学ぼう

私には、国際ロータリーはその方向性を徐々に変えようとしていと感じられます。これまでの人材育成、自己啓発、人格形成の学びの場としてのロータリークラブから、世界でトップクラスのボランティア団体としての地位を確立し、維持する。その為に種々の改革を行なっているように見えます。私たちは今後どうなるのか、どうあるべきか。何を残し、何を变えるのかを学ぶ機会を持ちましょう。具体的には、クラブ奉仕や社会奉仕のあり方、職業奉仕の考え方など基本中の基本と思われる事柄と、国際ロータリーが最近提唱する、ロータリーの戦略計画、行動計画、公共イメージ向上、DEI、危機管理、個人情報管理などの事柄をどう取り入れていくのかという問題であります。古くからのロータリー感と最近示された方向性の間に共通点はあるのか、相違があるとすればどのように考えていくのか。これまでの

ロータリーとこれからのロータリーとのバランスをどうとるのかを考えましょう。そのためには、ロータリー情報の伝達が重要な役割を果たします。皆様は地区のリーダーとして、正しいロータリー情報の発信源となり、地区で、地域で、クラブで、そして会員同士がロータリー情報の中身を考え、ロータリーについて議論をする素地を作っていただきたいと考えます。

6. 職業奉仕を学ぼう

職業奉仕の考え方は、これまで難しいものと言われてきました。一方で、最近の国際ロータリーは、職業を通じた社会貢献を職業奉仕の柱と位置付けて定着を図っています。これまで、多くの先人が積み上げてきた職業奉仕の精神を学び、私たちの今後のロータリー活動や社会活動に活用する道を考えましょう。いわゆる職業奉仕論は色々ありますが、難しく考えることはやめましょう。職業奉仕には、自分の内に奉仕の心を育て、その奉仕する心を持ちながら自分の仕事にあたること。そして、自分の職業を通じて社会の発展や未来の創造のために奉仕することの二つがあると考えます。先に述べた通り、後者の役割が強調されることが多いようですが、前者をしっかりと理解しておかないと、倫理観の醸成や高潔性維持がなぜ必要なのかを理解する事が困難になりがちです。ポールハリスがロータリーを立ち上げた1900年代初頭のシカゴがどんな所だったのかを知れば、なぜロータリー活動の中に職業奉仕の考え方が出てきたのかがわかると思います。

7. ロータリーデー記念事業

伊藤三之パストガバナーが提唱して始まった「それぞれの最上川物語」。最上川を通じて環境問題、そしてふるさとについて考える機会としましょうという訴えは私たちの胸を打ちました。さらに、芳賀ガバナーが提唱した、樹氷再生プログラムへの協力。母なる川最上川と山形のシンボルである蔵王樹氷、山形全体をステージにして、地区内全てのクラブが環境や自然保護、温暖化対策やゴミ問題、あらゆるテーマに関連した何らかの事業を行っていきましょう。ロータリーデーの事業として地域社会に情報を発信し、ロータリアンと一緒に、青少年を含む多くの地域の方々に参加いただく機会とし、ともに汗をかいて、地域について語りあいましょう。

8. ロータリー財団への貢献

世界で良いことをしようとアーチクラフが提唱して始まったロータリー財団。私の理解は、財団活動を通じて若者たちを支援することが主たる目的で、ロータリー財団への支援は、将来への投資であると考えています。私たち大人がより良い未来を築くために、未来をより良い方向に変える為にできる事は何か。多くの選択肢の中の一つとして、皆さんの浄財を寄付に回していただだけませんか。将来の子供達の笑顔のために。ロータリー財団への寄付金は会員1人当たり年間150ドル以上を地区目標とします。そして、財団の資金を活用した活動を活発化させましょう。地区補助金の活用、グローバル補助金を使った活動への積

極的な参加をお願いします。

ロータリーとロータリー財団にとっての悲願であるポリオ撲滅が目前に迫っています。ポリオプラスソサイアティーへの参加、世界ポリオデーへの参加もお願いします。

9. 米山奨学会への貢献

外国から日本に留学している学生たちに、安心して勉学に励んでもらい、日本への理解を深めてもらうために米山梅吉翁の賛同者が始めた米山奨学事業。米山奨学会は日本と海外との架け橋になる学生を支援することが目的です。ロータリー財団と同じ点は、将来への投資であるということです。海外から来て勉学に励み、日本の父、母と呼ばれる私たちロータリアンとその家族。そして、私たちの子供と呼べる留学生との出会い。これは、将来にわたって続く宝物です。彼ら、彼女らが日本のみならず世界の将来に大きな益をもたらすことが、私たちの子供や孫の時代を豊かなものにしてくれると信じ、皆様の絶大な支援をお願いします。米山奨学会への寄付金は会員1人当たり年間15,000円以上を目指します。さらに、米山奨学生への支援として、世話クラブを務めていただきたい。世話クラブが充実していないと、米山奨学生に対する支援が半減してしまいます。

10. 青少年奉仕を充実させよう

青少年奉仕は、2010年ロータリーの第5の奉仕部門として独立しました。最初は新世代奉仕と銘打たれていましたが、現在は青少年奉仕となっています。その中には、インターアクト、ロータリー指導者養成、青少年交換、新世代交換の各プログラムが含まれています。以前は、ローターアクトもこの中に含まれていましたが、2020年にローターアクトクラブが国際ロータリーのメンバーとなったため、今は除かれています。しかし、ローターアクトクラブを含めた青少年奉仕部門の充実が、世界の未来を左右する重要な奉仕活動であると理解し、ロータリアンの総力を上げて取り組むべき事項と理解してください。それぞれのクラブで既に取り組んでいるプログラムもあると思いますが、まだ取り組みを実行されていないクラブでは、何らかの参加の可能性を探っていただきたいと思います。更に、国際ロータリーのプログラム以外にも私たちの活躍の場は多数存在すると思います。新たな青少年奉仕の場を見つけ開拓していく。先進的な取り組みも奨励したいと考えます。

11. ガバナー賞

本年度ガバナー賞は、以下の10項目のうち3項目以上を達成したクラブを表彰します。

- ① 会員増強 純増2名以上
- ② 会員増強 女性会員純増1名以上
- ③ 出席率90%以上
- ④ マイロータリーの登録率80パーセント以上
- ⑤ 地区公式LINE登録率80パーセント以上

- ⑥ ロータリー財団寄付 クラブ平均 1人150ドル以上
- ⑦ 米山奨学会寄付 クラブ平均 1人15,000円以上
- ⑧ ポール・ハリス・ソサエティ・メンバーの1名以上輩出
- ⑨ ポリオプラス・ソサエティ・メンバー2名以上の輩出
- ⑩ ロータリー奉仕デーの事業「それぞれの最上川物語 パート3」に参加

また、ガバナー補佐の推薦により、審査のうえ決定するガバナー賞は次の2つです。

- ① 特に地域に貢献されたクラブを表彰
- ② 特にロータリー活動に貢献されたロータリアンを表彰

クラブ会長エレクトの皆さまへ

クラブ会長となるための準備

クラブ会長のやるべき事は、目標を設定し、クラブを運営し、会員を増やし、地域における認知度を向上させ、会員の満足度を上げる事等があげられます。これ以外にも、後進の育成、将来を見据えた組織作り、行動計画策定、進捗状況の確認、前年度、次年度との協議などがあります。

役割と責務

初めてロータリークラブ/ローターアクトクラブの会長となる方も、会長経験者も、この1年間はクラブでリーダーシップを発揮し、地域社会に貢献できる貴重な機会となります。この研修では、会長としての役割と責務、成功に必要なスキル、就任の準備、役員の人選と研修について一緒に考えてみましょう。

まず、会長に就任する前に、国際ロータリーのサイトにアクセスした後**My ROTARY**にアカウントを作成しログインしてください。My ROTARYのトップページからラーニングセンターに入って、「クラブ会長の基本」「クラブ会長（中級）」の学習プランを終了して下さい。ラーニングセンターには、その他の役職に関する情報も揃っていますので、会長さんだけでなく、幹事さんや各委員長さんにもラーニングセンターでの学習をお勧め下さい。国際ロータリーの推奨する情報が入っていますので、皆さんの参考になるかと思います。

My ROTARYには、**ロータリークラブセントラル**も含まれていますが、ここには、クラブ運営に関する情報が含まれており、次年度の計画を策定するにあたり、ご利用いただくようお願いいたします。クラブセントラルにクラブの情報を登録頂くことで、地区との情報交換もスムーズに行うことが可能となります。

先ほどご説明申し上げた通り、34YRGに従って、今後3年間のクラブ戦略計画を入力ください。その際、次年度クラブ会長エレクト、ノミネーとご相談いただくことを推奨いたします。

クラブ会長の責務は多岐に渡りますが、ざっと考えて以下の事が挙げられるかと思います。

1. **クラブの運営**
2. **クラブ財務の監督**
3. **入会と会員の積極的参加の促進**
4. **公共イメージ推進の取り組み**
5. **ロータリー財団の補助金とプログラムへの参加と推進**
6. **米山奨学会への参加と推進**
7. **奉仕活動でのリーダーシップ**
8. **ハラスメント防止と危機管理**

1. クラブの運営

- 次年度の役員と理事の選挙を監督する。
- クラブ理事会のメンバーとなる。
- 毎月の理事会会合を計画し、議長となる。
- ロータリークラブ：次年度のクラブ役員を会長就任前の2月1日までにMy ROTARYから報告する。
- ローターアクトクラブ：クラブと会員のデータを更新する。6月30日までにクラブ役員を国際ロータリーに報告する。
- 幹事と会計がクラブの会員データやそのほかのデータを定期的に更新するよう確認する。
- クラブと地区の事柄についてガバナーおよびガバナー補佐と協力する。
- ロータリーの活動に関する基本情報を会員に伝える。
- ガバナーおよび国際ロータリーからの重要な情報を会員に伝える。
- クラブ役員と協力し、必要に応じてクラブの定款と細則を更新する。
- 会員が必要な研修を受けられるようにする。
- 地区大会に出席する。
- 地区会合の出席、およびロータリー国際大会と大会前会議への参加を会員に奨励する。
- 会長年度が終わる前に、クラブの年次報告書をクラブに提出する。
- 今年度と次年度の理事会の合同会合を手配する。
- ロータリークラブ：ガバナー公式訪問に備える。

2. クラブ財務の監督

- クラブの予算作成を監督し、適切な会計慣行に従うようにする（年次財務監査など）。
- ロータリークラブ：クラブの財務管理を監督し、国際ロータリーからのクラブ請求書が遅延なく支払われるようにする。
- クラブの活動とかかわるリスクを最小限に抑える。

3. 入会と会員の積極的参加の促進

- 会員増強委員会のメンバーを人選し、会合を開く。委員長の氏名を必ず国際ロータリーに報告する。
- 会員増強委員会と協力して、入会候補者情報の管理を担当する会員を決める。
- 地区目標に沿ったクラブの会員増強目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する。
- 役職や経験に応じたさまざまな研修について会員に伝える参加を推奨する。
- 同じ地域の新クラブのスポンサーとなる機会を模索する。
- クラブのイベントや活動にプログラム学友の参加を促すための方策を立てる。
- クラブ独自の方法、または奉仕部門功労者賞への推薦を通じて、会員の貢献や功績を称える。

- インクルーシブ（包摂的）なクラブの文化を育み、多様な会員基盤づくりに取り組む。

4. 公共イメージ推進の取り組み

- 公共イメージ委員会（広報委員会）のメンバーを選し、会合を開く。委員長の氏名を必ず国際ロータリーに報告する。
- 公共イメージ委員会と協力して、コミュニケーション計画を立てる（または計画をさらに練る）。
- ロータリークラブ：ロータリークラブ・セントラルの「目標設定・確認センター」で、クラブの現在の公共イメージ活動の状況を確認し、新しい公共イメージ目標を立てる（新しい目標をロータリークラブ・セントラルに入力する）。
- メディアに対するクラブのスポークスパーソンとなる。または、スポークスパーソンとなる会員を決める。
- ロータリーに関する情報発信と広報のために、地元メディアや他団体との関係を築く。
- 地元のビジネスや市民のリーダー、若い職業人、他団体に、ロータリーの最新のビジョン声明とミッション、クラブの奉仕活動について伝える。
- クラブが地域社会に変化をもたらしていることを示すプロジェクトや活動を人びとに伝える。その為に、SNSの活用を積極的に進める。
- ブランドリソースセンターにあるガイドラインに沿ってロゴ（ロータリーまたはローターアクト）が正しく使われているかどうかを確認する。
- ブランドリソースセンターから入手可能な国際ロータリーの広報・推進用資料や公共奉仕広告（動画、印刷広告など）を活用して、地域社会で情報を発信する。
- 地区とクラブのテーマまたはメッセージ

クラブと地区は、独自のテーマやメッセージを作成するのではなく、ロータリー全体の会長メッセージを使用すべきです。



これは、一つのボイスで一貫したメッセージを発信するためです。

- 上記に加え、ローターアクトクラブ会長は以下を行うことができる：
 - ◎クラブの「世界ローターアクト週間」のイベントや活動を広報する
 - ◎「ローターアクト卓越したプロジェクト賞」に応募する

5. ロータリー財団の補助金とプログラムへの参加と推進

- ロータリークラブ：
 - ◎ロータリー財団委員会のメンバーを選し、会合を開く。委員長の氏名を必ず国際ロータリーに報告する。
 - ◎ロータリー財団委員会と協力し、クラブがロータリー補助金の参加資格認定を受ける（または認定を維持する）ようにする。
 - ◎会長エレクト/会長として、「クラブの覚書（MOU）」を理解し、これに同意する。

- 各年度に「クラブの覚書（MOU）」を読み、改訂による変更点があるかどうかを確認した上で、同意の署名をする
- ◎完了していない補助金の報告書が期日通りに提出される様にする。
- ◎ロータリークラブ・セントラルで、クラブでのロータリー財団への寄付状況を確認し、会長就任に先立ってクラブの寄付目標と財団プログラムの参加目標を立てる。
- ◎ロータリー財団に寄付した会員を認証／表彰する。
- ローターアクトクラブ：
 - ◎クラブのロータリー財団委員会と協力して、会員への研修を行い、寄付推進の方策を立て、財団への支援方法について会員に情報を提供する。
 - ◎「ローターアクト寄付達成証」の取得を目指してロータリー財団の年次基金に寄付する。
 - ◎グローバル補助金を申請するための参加資格認定を受ける。地区の補助金管理セミナーに出席するため、地区リーダーに連絡して手配を行う。
 - ◎地区補助金またはグローバル補助金のプロジェクトでロータリークラブと協力する。

6. 米山奨学会への参加と推進

- 米山委員会のメンバーを人選し、会合を開く。
- 米山奨学会に寄付する
- クラブでの米山奨学会への寄付状況を確認し、会長就任に先立ってクラブの寄付目標と米山プログラムの参加目標を立てる。
- 米山奨学会に寄付した会員を認証／表彰する。
- 米山奨学生を受け入れ、米山奨学会の活動に関する情報を提供する。
- 奨学生のカウンセラーを任命する。

7. 奉仕活動でのリーダーシップ

- 奉仕プロジェクト委員会のメンバーを人選し、会合を開く。委員長の氏名を必ず国際ロータリーに報告する。
- ロータリークラブ：ロータリークラブ・セントラルでクラブの現在のプロジェクトを確認した上で、自分の会長年度のクラブの奉仕目標を決める。
- ローターアクトクラブ：自分の会長年度の奉仕活動への会員参加目標を決める。
- 奉仕プロジェクト委員会と協力して：
 - ◎実施中のプロジェクトを次年度にも継続するかどうかを決める。
 - ◎会員が奉仕プロジェクトへの参加やプロジェクトでのリーダーシップの発揮に関心を抱いているかどうか、また、会員が活動に生かせるどのようなスキルと知識をもっているかを調べる。
 - ◎会員がスキルや知識を奉仕プロジェクトで生かせる機会をつくり出す。
- 地域社会のニーズ調査とプロジェクトの成果測定の方法を特定する。
- 奉仕プロジェクトにおいてクラブが以下のステップに沿うようにする：

- ◎計画の早い段階で、関連分野に詳しい人に相談し、アドバイスを得る
- ◎地域社会の調査を実施する
- ◎（クラウドソーシング、補助金、募金活動などを通じて）活動資金を調達する
- ◎プロジェクトを実施する
- ◎プロジェクトの成果を評価する
- クラブがスポンサーしているインターアクトクラブとロータリー地域社会共同隊（RCC）をサポートする。
- ロータリーの青少年保護方針と「青少年と接する際の行動規範に関する声明」に従い、ロータリー青少年交換の要件を満たす。
- 奉仕活動について質問がある場合やサポートが必要な場合には、次の委員会に相談する：
 - ◎国際奉仕委員会
 - ◎社会奉仕委員会
 - ◎ロータリー財団委員会
 - ◎地区ローターアクト委員会

8. ハラスメント防止と危機管理

- ロータリーは、いかなる形であれハラスメントのない環境を維持することに力を注いでいます。ハラスメントには、同意なく身体に触れる、誘いかける、不適切なコメントを述べるといった言動が含まれます。ロータリーの会合、行事、活動に参加するすべての人は、全参加者の安全、礼儀、尊厳、尊重を大切にすることを築くことに努めなければなりません。
- ハラスメントのない環境に関するロータリーの方針についてクラブ理事会で話し合い、この方針を会員に伝える方法を検討する。
- クラブ協議会でこの方針について話し合う。センシティブな話題となる可能性があるため、事前に話し合いのルールを決めておくといよいでしょう（例：「自分の体験や感情を率直に話す」「不明な点があれば質問する」など）。
- 過去のハラスメントの事例を示し、そのような言動が容認されないことを会員に明確に伝える。
- ハラスメントを一切容認しないというロータリーの姿勢を強調する。
- ハラスメントが起きた場合に会員が声を挙げ、必要であれば警察やクラブ・地区リーダーに安心して報告できる環境を築く。
- ハラスメントの報告があった場合にクラブと地区のリーダーがどう対処するかを、会員に知らせておく。
- ハラスメントのない環境づくりは全会員の責務であることを強調する。
- ハラスメントが起きてしまったら
 - 身の安全が脅かされていると感じたら、警察に相談する
 - クラブ理事会、地区リーダー、ゾーンリーダーなど適切な人に伝える

- 国際ロータリーに報告する
- ハラスメントの報告にどう対処するか
 - すべての報告に真摯に対応する
 - 申し立てについて適切な人または委員会に報告する
 - 疑いのある人を青少年活動から除外する
 - 調査結果を報告書にまとめ、推奨事項を含める
- 個人データの保護

個人データは保護する価値のある貴重な財産であり、国際ロータリーとロータリー財団は収集したデータを保護するための方針と手続きを定めています。さらに、クラブと地区のリーダーが責任をもってデータを保護し、地元のプライバシー法や規制を遵守するようお願いしています。

クラブ次期幹事の皆さまへ

どのクラブでも、幹事の責務はクラブの効率的な運営をサポートする事です。

責務

1. 地区研修・協議会と地区大会に出席する。
2. 前任の幹事からクラブの記録を受け取る。
3. クラブの次期役員や理事会メンバーと密に連絡を取り、次年度の計画を立てる。クラブの戦略計画を見直し、現状に合った内容になっていることを確認する。戦略計画の更新について理事会と話し合う。
4. クラブ情報と会員情報への変更を、MY ROTARYで更新する。My ROTARYでクラブの記録と会員リストを更新する。
5. クラブが最新のロータリー組織規定文書を保管し、必要に応じて参照できることを確認する。
6. 会計がクラブ請求書の支払いを遅延なく行うことを確認する。
7. クラブ理事会と管理運営委員会のメンバーとなる。
8. 会員増強委員会と話し合い、入会候補者情報の管理の担当者を決める。
9. 例会、理事会、協議会の議事録を取る
10. オンラインの公式名簿に掲載されるクラブと役員を管理する。
11. メール連絡への対応、通知や招待状の送付等、クラブでの連絡全般を管理する。
12. 行事で使う資料や名札などを管理する。
13. クラブの史料を保管する。
14. 年度末に年次報告書を作成する。
15. 必要に応じて、会長、会計、各委員会を援助する。
16. 後任の幹事にクラブの記録を渡す。

公式訪問に関する基本方針

ガバナー公式訪問

2025年7月中旬から12月中旬にかけて、ガバナー公式訪問を行います。

ガバナー公式訪問の形式は、

- A) 通常例会に訪問
- B) 時間変更（移動）例会に訪問
- C) グループ内の複数クラブを同時に訪問

のいずれかを選択していただき実施する予定です。

- A) 通常例会に訪問：午前11時から会長・幹事・委員長懇談会、午後0時30分から公式訪問例会とします。
- B) 時間変更（移動）例会に訪問：午後5時から会長・幹事・委員長懇談会、午後6時から公式訪問例会とし、午後7時から懇親会の開催とします。懇親会は、各グループ内で1回のみとさせて頂き、合同での開催をお願いします。
- C) グループ内の複数クラブの合同例会への訪問：合同例会の場合は、会長・幹事・委員長懇談会を各クラブ1時間ほど行い、その後午後6時から公式訪問例会とし、午後7時から懇親会の開催をお願いします。

ガバナー公式訪問時の例会は、可能な限り100パーセント出席例会となるようご配慮ください。市町村等への表敬訪問には、グループ内クラブ会長の同行をお願いします。

2025-2026年度 ガバナー公式訪問日程表（案）

2025.3.1現在

	クラブ名	訪問日	例会	訪問	時間
第1グループ	酒田	7月30日	水	水	
	酒田東	7月30日	木	水	
	酒田中央	8月1日	金	金	
	酒田スワン	7月28日	火	月	
	酒田湊	7月28日	月	月	
第2グループ	鶴岡	8月19日	火	火	
	鶴岡西	8月6日	月	水	
	余目	8月5日	火	火	
	鶴岡東	8月6日	水	水	
	鶴岡南	8月19日	金	火	
第3グループ(A)	天童	9月19日	金	金	
	東根	8月7日	木	木	
	天童東	9月10日	水	水	
	天童西	9月1日	月	月	
	東根中央	9月8日	月	月	
第3グループ(B)	村山	9月16日	火	火	
	新庄	9月25日	木	木	
	尾花沢	10月2日	木	木	
	最上	10月7日	火	火	
	尾花沢中央	8月20日	水	水	
	村山コース	10月15日	水	水	
	新庄あじさい	10月9日	木	木	
第4グループ	寒河江	11月13日	木	木	
	大江	11月11日	火	火	
	河北	12月1日	月	月	
	寒河江さくらんぼ	11月25日	火	火	
	西川月山	11月26日	水	水	

	クラブ名	訪問日	曜日	訪問	時間
第5グループ(A)	山形	9月24日	水	水	
	山形北	10月30日	木	木	
	山辺	10月14日	火	火	
	山形南	10月21日	火	火	
	中山	9月29日	月	月	
第5グループ(B)	山形西	10月6日	月	月	
	上山	10月22日	水	水	
	山形東	10月17日	金	金	
	山形中央	9月30日	火	火	
	山形イブニング	10月20日	月	月	
第6グループ(A)	米沢	8月21日	木	木	
	米沢上杉	8月29日	火	金	
	高島	9月4日	木	木	
	米沢中央	8月29日	金	金	
	米沢おしょうしな	8月25日	月	月	
	長井	9月17日	火	水	
第6グループ(B)	南陽	8月27日	水	水	
	白鷹	7月24日	木	木	
	小国	9月3日	水	水	
	南陽東	9月9日	火	火	
	長井中央	9月17日	水	水	
	南陽臨雲	8月27日	月	水	

2025-2026年度 ガバナー公式訪問 カレンダー（案）

2025.3.1現在

	日	月	火	水	木	金	土	
7月			(7月) 1 ガバナー会	2	3	4	5	「ガバナー会」
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	「庄内お盆」
	20	㉑ 海の日	22	23	24 白鷹	25	26	
8月	27	28 酒田スワン・酒田湊	29	30 酒田・酒田東	31	(8月) 1 酒田中央	2	
	3	4	5 余目	6 鶴岡西・鶴岡東	7 東根	8	9	
	10	㉒ 山の日	12	13	14	15	16	「内陸お盆」
	17	18	19 鶴岡・鶴岡南	20 尾花沢中央	21 米沢	22	23	
	24	25 米沢おしょうしな	26	27 南陽・南陽臨雲	28	29 米沢上杉・米沢中央	30	
9月	31	(9月) 1 天童西	2	3 小国	4 高畠	5	6	
	7	8 東根中央	9 南陽東	10 天童東	11	12	13	
	14	㉓ 敬老の日	16 村山	17 長井・長井中央	18	19 天童	20	
	21	22	㉔ 秋分の日	24 山形	25 新庄	26	27	
	28	29 中山	30 山形中央	(10月) 1	2 尾花沢	3	4	
10月	5	6 山形西	7 最上	8	9 新庄あじさい	10	11	
	12	㉕ スポーツの日	14 山辺	15 村山ローズ	16	17 山形東	18	
	19	20 山形イブニング	21 山形南	22 上山	23	24	25	
	26	27	28	29	30 山形北	31	(11月) 1	
11月	2	㉖ 文化の日	4	5	6	7	8 地区大会	「地区大会」
	9 地区大会	10	11 大江	12	13 寒河江	14	15	
	16	17 ロータリー研究会	18 ロータリー研究会	19 ロータリー研究会	20 ロータリー研究会	21	22	「ロータリー研究会」
	㉗ 勤労感謝の日	㉘ 振替休日	25 寒河江さくらんぼ	26 西川月山	27	28	29	
	30	(12月) 1 河北	2	3	4	5	6	
12月	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	

【今後の予定】

7/1 ガバナー会

11/8-9 地区大会

11/17-20 ロータリー研究会

クラブ会長エレクトは、会長エレクトラーニングセミナー（PELS）で提示された「決議事項（案）」「申し合わせ事項（案）」「地区資金予算書（案）」「地区大会予算書（案）」「ガバナーエレクト地区資金予算書（案）」を、クラブ理事会へご提案いただき、審議のうえ地区研修・協議会に於いてご承認お願いいたします。

決議事項（案）

（１）地区賦課金の件

①賦課金	17,500円 / 人
②その他の賦課金	
・ガバナー会運営協力金	200円 / 人
・ロータリー文庫運営協力金	200円 / 人
・RIJYEM 運営協力金	200円 / 人
①②の合計	18,100円 / 人

（２）地区大会登録料	11,000円 / 人
RI 会長代理歓迎晩餐会登録料	12,000円 / 人

（３）特別会計（地区災害等救援特別基金）	1,000円 / 人
----------------------	------------

申し合わせ事項（案）

（１）会員増強の件

各クラブ会員純増 2 名以上

（２）ロータリー財団の件

①年次基金 : 50 \$ / 人 (11/30 までに納入)

②ポリオプラス : 30 \$ / 人 (11/30 までに納入)

1 人年間 150 \$ 目標

（３）米山記念奨学会の件

①普通寄付 : 上期 2,500円 / 人

下期 2,500円 / 人

②特別寄付 : クラブ会員全員 (1,000円から特別寄付は可能)

1 人年間 15,000円 目標

2025-2026年度 国際ロータリー第2800地区 資金予算書(案)

収入の部	項目	24~25年度予算	25~26年度予算	増減	備考欄
	人数	1,460	1,450	▲ 10	
	地区賦課金	¥24,820,000	¥25,375,000	555,000	1,450名 * ¥17,500
	新会員地区賦課金	¥110,000	¥110,000	0	上期 15名 下期 10名
	ガバナー会運営協力金	¥292,000	¥290,000	▲ 2,000	1,450名 * ¥200
	ロータリー文庫運営協力金	¥292,000	¥290,000	▲ 2,000	1,450名 * ¥200
	RIJYEM運営協力金	¥292,000	¥290,000	▲ 2,000	1,450名 * ¥200
	ガバナー活動費・配分予算	¥1,424,946	¥1,478,862	53,916	RIより
	合計	¥27,230,946	¥27,833,862	602,916	

支出の部	項目	24~25年度予算	25~26年度予算	増減	備考欄
(ア) 地区活動資金	A. インターアクト	¥800,000	¥800,000	0	
	B. スポンサークラブ補助	¥280,000	¥280,000	0	30,000 X 8クラブ + 事務局費 40,000
	① インターアクト(A~B計)	¥1,080,000	¥1,080,000	0	
	A. ローターアクト	¥900,000	¥900,000	0	
	B. 提唱クラブ補助	¥210,000	¥210,000	0	30,000 X 7クラブ
	② ローターアクト(A~B計)	¥1,110,000	¥1,110,000	0	
	A. 受入補助金	¥700,000	¥1,050,000	350,000	¥350,000 * 3名
	B. 派遣補助金	¥0	¥300,000	300,000	
	C. 委員会費	¥500,000	¥500,000	0	
	D. ROTEX	¥100,000	¥100,000	0	
	E. スプリングキャンプ	¥300,000	¥300,000	0	
	③ 青少年交換(A~E計)	¥1,600,000	¥2,250,000	650,000	
	④ 青少年育成費(ライラ等)	¥300,000	¥300,000	0	
	⑤ 賠償責任保険費	¥150,000	¥150,000	0	
	⑥ 広報活動費	¥100,000	¥100,000	0	
	⑦ ガバナー活動費	¥1,424,946	¥1,478,862	53,916	
	(ア) ①~⑦計	¥5,764,946	¥6,468,862	703,916	
(イ) ローター連絡運営費	①. ガバナー連絡運営費	¥292,000	¥290,000	▲ 2,000	1450名 * ¥200
	②. ロータリー文庫運営協力金	¥292,000	¥290,000	▲ 2,000	1450名 * ¥200
	③. RIJYEM運営協力金	¥292,000	¥290,000	▲ 2,000	1450名 * ¥200
	④. 平和奨学生支援金	¥21,900	¥21,750	▲ 150	1450名 * ¥15
	(イ) ①~④計	¥897,900	¥891,750	▲ 6,150	
(ウ) 地区運営資金	A. ローター研究費	¥800,000	¥800,000	0	¥80,000 * 10名
	B. 諮問委員会費	¥300,000	¥300,000	0	
	C. 全国ガバナー連絡会費	¥250,000	¥250,000	0	
	D. 2530地区交流会議費	¥50,000	¥50,000	0	
	E. AGクラブ訪問指導費	¥588,000	¥588,000	0	¥3,000 * 4回 * 49クラブ
	F. 地区委員会議費	¥150,000	¥150,000	0	
	① 会議費(A~F計)	¥2,138,000	¥2,138,000	0	
	A. クラブ奉仕委員会	¥100,000	¥100,000	0	
	B. 会員増強委員会	¥150,000	¥150,000	0	
	C. 職業奉仕委員会	¥150,000	¥150,000	0	
	D. 青少年奉仕委員会	¥350,000	¥300,000	▲ 50,000	
	E. ローターアクト委員会	¥0	¥50,000	50,000	
	F. 社会奉仕委員会	¥50,000	¥50,000	0	
	G. 国際奉仕委員会	¥50,000	¥50,000	0	
	H. 米山・学友委員会	¥350,000	¥350,000	0	
	I. ローター財団委員会	¥200,000	¥200,000	0	
	J. 危機管理委員会	¥20,000	¥20,000	0	
	K. ローターの友	¥0	¥0	0	
	L. 地区資金委員会	¥30,000	¥30,000	0	
	② 地区委員会活動費(A~L計)	¥1,450,000	¥1,450,000	0	
	③ 地区セミナー研修費	¥400,000	¥400,000	0	
	A. 規定審議会旅費積立	¥150,000	¥150,000	0	
	B. クラブ拡大費	¥0	¥0	0	
	C. 山形米山学友会	¥150,000	¥150,000	0	
	④ 補助費(A~C計) 小計	¥300,000	¥300,000	0	
	A. 直前ガバナー記念品	¥100,000	¥100,000	0	地区大会にて
	B. 直前ガバナーハッチ	¥50,000	¥50,000	0	地区研修・協議会にて
	C. 地区表彰費	¥500,000	¥500,000	0	
	⑤ 記念品(A~C計)	¥650,000	¥650,000	0	
	⑥ 月信マンスリーレター	¥2,843,100	¥2,912,000	68,900	1,600部 * ¥140 * 13ヶ
⑦ 国際大会代表議員参加補助費	¥150,000	¥100,000	▲ 50,000		
(ウ) ①~⑦計	¥7,931,100	¥7,950,000	18,900		
1) 活動運営資金(ア~ウ計)	¥14,593,946	¥15,310,612	716,666		
2) 地区事務所費	¥6,750,000	¥6,700,000	▲ 50,000		
3) ガバナーエレ地区資金	¥5,840,000	¥5,800,000	▲ 40,000	¥4,000 X 1,450	
4) 予備費	¥47,000	¥23,250	▲ 23,750		
総計	¥27,230,946	¥27,833,862	602,916		

2025-2026年度 国際ロータリー第2800地区 地区大会予算書(案)

収入の部	項目	24～25年度予算	25～26年度予算	増減	備考欄
	人数	1460	1450	▲ 10	
	年次大会登録料(期首)	¥14,600,000	¥15,950,000	1,350,000	全員基本登録料 11,000
	年次大会登録料(新会員)	¥120,000	¥120,000	0	15名 X ¥8,000
	年次大会登録料(地区外)	¥100,000	¥300,000	200,000	他地区,兄弟・姉妹クラブ等 30名
	晩餐会登録料	¥1,296,000	¥1,320,000	24,000	[90名(会長幹事) + 20名(PG・地区外)] * @¥12,000
	表彰負担金	¥710,000	¥705,000	▲ 5,000	10年 15名 * ¥12,000 20年～ 35名 * ¥15,000
	地区表彰繰入金	¥500,000	¥500,000	0	地区資金より
	雑収入その他収益	¥50,000	¥50,000	0	
	合計	¥17,376,000	¥18,945,000	1,569,000	

支出の部	項目	24～25年度予算	25～26年度予算	増減	備考欄
	記念事業費	¥600,000	¥600,000	0	
	表彰費	¥1,100,000	¥1,100,000	0	
	記念品費	¥300,000	¥300,000	0	
	宿泊費	¥700,000	¥700,000	0	
	印刷製本費	¥500,000	¥500,000	0	
	大会記録費	¥400,000	¥400,000	0	
	広告費	¥200,000	¥200,000	0	
	会議費	¥200,000	¥300,000	100,000	
	事務経費、諸経費(人件費含む)	¥1,000,000	¥1,500,000	500,000	
	送迎費	¥500,000	¥400,000	▲ 100,000	
	小計	¥5,500,000	¥6,000,000	500,000	
	RI会長代理昼食費	¥200,000	¥200,000	0	
	RI会長代理晩餐会費	¥1,400,000	¥1,600,000	200,000	
	会場費	¥1,500,000	¥1,700,000	200,000	
	講演料	¥700,000	¥700,000	0	
	大会昼食費	¥1,100,000	¥1,000,000	▲ 100,000	
	ドリンク代	¥150,000	¥150,000	0	
	懇親会費	¥5,380,000	¥5,800,000	420,000	
	アトラクション	¥300,000	¥600,000	300,000	
	エクスカージョン	¥100,000	¥100,000	0	
	G他地区大会出席費	¥500,000	¥500,000	0	
	次年度ガバナー賞表彰費	¥500,000	¥500,000	0	
	予備費	¥46,000	¥95,000	49,000	
	小計	¥11,876,000	¥12,945,000	1,069,000	
	合計	¥17,376,000	¥18,945,000	1,569,000	

**2025-2026年度国際ロータリー第2800地区
ガバナーエレクト地区資金予算書(案)**

<収入の部>

(単位：円)

	項目	24-25予算	25-26予算	増減	備考
	地区賦課金 (ガバナー地区資金より)	5,840,000	5,800,000	△ 40,000	4,000円*1,450人
	総 計	5,840,000	5,800,000	△ 40,000	

<支出の部>

	項目	24-25予算	25-26予算	増減	備考
(ア) 地区運営費	1. 会議費				
	A. 地区チーム研修費	2,100,000	2,100,000	0	
	ガバナー補佐研修会	400,000	400,000	0	研修会3回開催
	地区チーム研修セミナー	530,000	530,000	0	
	会長エレクト研修会 (PETS)	720,000	720,000	0	
	地区研修・協議会	450,000	450,000	0	
	B. 国際協議会出発歓送会	400,000	360,000	△ 40,000	
	A~B 小 計	2,500,000	2,460,000	△ 40,000	
	2. GE国際協議会参加補助費	1,000,000	1,000,000	0	
	(ア) 合 計	3,500,000	3,460,000	△ 40,000	
	ガバナーエレクト事務局運営費	2,310,000	2,310,000	0	
	予 備 費	30,000	30,000	0	
	総 計	5,840,000	5,800,000	△ 40,000	

クラブ奉仕について

— 時代の変化に対応できるクラブ作りを —

2025-2026 年度 クラブ奉仕アドバイザー
ガバナー 芳賀 康雄 (白鷹 RC)

五大奉仕委員会の筆頭に掲げられているクラブ奉仕委員会は最も重要な委員会です。クラブの発展・地区の発展はこの委員会にかかっております。なぜなら ロータリーの基本(哲学)を学び実践する場がクラブ であるためです。そのため、会員増強委員会、職業奉仕委員会と密接な連携を持ち「クラブ活性化」に取り組む必要があります。

小松栄一ガバナーエレクトがロータリー活動の基本はクラブ例会にある。友情を培い、仲間を広め、自分にはない何かを得ようとする。また「奉仕の理念」を探求し、職業倫理の何たるかを学び、世界に視野を広げる。若者との交流を通じ、未来を展望する。そのすべての始まりがロータリークラブの活動の中にある。例会が私達の活動の場であり、そこで多くの事を学ぶ。と言っておられます。当にその通りでこの委員会はクラブの根幹でありクラブの縁の下の力持ち的存在の委員会であると思います。

- 1、クラブ奉仕委員会はロータリークラブ（クラブ活性化の基盤）の土台づくり
- 2、クラブは「ロータリーの目的・奉仕の理念」を学び・実践する場所
- 3、クラブ活性化はオール・メンバーの参加協力が不可欠、会長の高いリーダーシップが必要
- 4、ガバナー補佐との連携を深め、クラブの活性化を図る

以上の事を踏まえて、各クラブは、地域で良い事を実践するためには「行動計画を学び」実践しなければなりません。**クラブは持続可能なプログラムを持つとより一層楽しくなると言われております。**その持続可能な行動計画は **My Rotary** より検索し「**3Year Rolling Goals**」の方針に則って作成してみよう。問題あればいつでも見直しを入れ修正しながら活動を進める事ができます。この一年間共に学び交流を深め、楽しい満足度の高いロータリークラブができるよう頑張りましょう。宜しく願いいたします。

クラブ奉仕委員会

2025-2026 年度 クラブ奉仕委員会

委員長 高嶋 俊幸（山形西 R C）

クラブ奉仕とは、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。クラブ奉仕委員会は、各クラブの目標作成、奉仕プロジェクトの立案と実行、活気あるクラブづくりの支援等を行います。

1. クラブ活性化への取り組みについて

クラブ活性化は、2800 地区重点事項のひとつであり、単年度では到底達成できないテーマです。クラブ活性化への具体的なプランは、クラブセントラルのロータリー戦略計画を参考にしながら「向こう 3 年間のクラブ行動計画」の策定が求められます。

① ロータリーを学ぶ

ロータリーの基本理念である、ロータリーの目的、ロータリーの公式標語、四つのテスト、ロータリーのビジョン声明、行動計画等。

クラブ会員同士がロータリーについて議論する素地づくり。

② ロータリー活動の基本「例会」とクラブの活性化

活動の基本はクラブ例会になります。「入りて学び、出でて奉仕せよ」、例会は多くの学びを得る場所であり、充実した例会が会員の満足度を高め、充実した奉仕活動がクラブの活性化につながります。クラブ活性化にはクラブ会長のリーダーシップが重要であり、充実した例会運営とロータリーを常に意識した例会での会長挨拶、DEI の精神に基づくインクルーシブなクラブづくり等を実践してください。

③ クラブの健康チェックの実施

クラブ内で健康チェックを実施することで、クラブが抱えている強さと弱さが見えてきます。クラブ活性化に向けたチェックポイントとなり、クラブの長期計画を策定する上での参考となります。

④ ガバナー補佐との連携、クラブ活性化を図る

各グループのガバナー補佐と協力して、ガバナーが策定した基本方針に基づいて地区重点事項を実施することで、クラブの活性化を支援します。

⑤ クラブ活性化実例の調査・発信

会員増強、クラブ活性化に成功しているクラブは存在します。こうしたクラブの取り組み実例を調査し、情報提供していきます。

2. クラブ活性化を主題としたセミナー等の開催

クラブ活性化をテーマとしたセミナー等の開催を計画します。詳細については、小松ガバナー、芳賀アドバイザーと相談の上、決定します。

ロータリー情報委員会

2025-2026 年度 ロータリー情報委員会
委員長 平山 順一（米沢中央 R C）

① クラブ活性化や学びに繋がる情報発信

- ・ R I の最新情報、第 2 8 0 0 地区や委員会活動情報を逐次収集して、地区公式 L i n e や地区ホームページなどの S N S を活用した情報発信と、ガバナー月信やロータリーの友への情報提供による情報発信を併用して、クラブの活性化に繋がる情報提供をします。
- ・ ロータリーの活動の基本はクラブ例会です。クラブ例会を充実させることで、楽しくて出席したくなるクラブとなり会員の満足度は上昇し、クラブの活性化に繋がります。そのためにも会長のリーダーシップや感動的な会長挨拶は不可欠です。「ロータリー文庫」はロータリーのことを学ぶための資料が豊富ですので、クラブの活性化に繋げるためにも「ロータリー文庫」の活用を推進します。

ユーザー名：rotary-bunko/パスワード：bunko2024 2024-25 年度パスワード(毎年更新)

② 「My Rotary」及び「地区公式 Line」の登録推進

- ・ 「My Rotary」は、ロータリーの活動・地区やクラブ運営に必要なデータを管理、入手できる便利なシステムです。登録を促すためにも、「My Rotary」の有用性やメリットを会員の皆様に広報すると共に、登録方法の情報を発信し登録を推進します。
- ・ 「地区公式 Line」は、My Rotary へのログイン、地区のスケジュール確認、地区や委員会活動やセミナーなどの情報公開、ガバナー月信や地区 H P などの閲覧などができる便利なツールです。登録 8 0 % を目標に登録を推進します。

③ ロータリーを学ぼう

- ・ ロータリーは学びの場であり、ロータリーの目的や五大奉仕などロータリーの基本を学ぶことは大切です。現在、クラブの行動計画(A c t i o n P l a n)が重視されており、3 年戦略計画を作成することになります。「Japan Rotary Portal site」など 3 年戦略計画作成のために必要な情報提供をおこないます。
- ・ ロータリークラブで活動している際に、ロータリーの専門用語や略語などわかりづらい言葉が多数存在します。新会員を含めた入会 3 年未満の会員や、今更そんなことを聞けないという会員の方にも、ロータリークラブのことを理解していただけるような情報を発信します。

会員増強について

2025-2026 年度 会員増強アドバイザー
パストガバナー 上林 直樹（酒田中央 RC）

次年度会員増強アドバイザーを務めますパストガバナー上林直樹です。

会員増強の目的

- ① 多様性をもたらす様々な友人との出会い（親睦と友情）
- ② 一人でも多くの方に「奉仕の理念」を学んでもらう（奉仕の理念の普及）
- ③ きめ細かい価値ある奉仕活動の実践（奉仕活動の共働実践）
- ④ 良好な財政基盤と価値あるクラブ運営（健全な効果的クラブ運営）
- ⑤ クラブの維持存続

会員増強の考え方と方法

- ① 会員増強意味と重要性を理解する。
- ② ビジョンを前提にクラブに合った目標を設定する。
- ③ 会長が率先してクラブ会員全員にその必要性和やる気を喚起する。（全員参加方式）
- ④ 各会員がロータリーの定義や説明が出来るようにパンフレットを用意する。
- ⑤ 会員候補者を頻繁に例会に誘う。
- ⑥ 月 1 回、会員増強の進捗状況を例会で報告する。
- ⑦ 会員維持のためには良好な人間関係が大切です。

会員増強委員会赤塚委員長、公共イメージ委員会伊勢委員長のリーダーの下、地区内各クラブが活性化して頂きたいと思います。

会員増強委員会

～ ロータリーの未来を創る会員増強戦略 ～

2025-2026年度会員増強委員会
委員長 赤塚弘実(天童東RC)

<はじめに>

2025-2026年度のRIマリオ会長は、「会員増強は最も重要な課題であり、ロータリーの最大の資産である」と強調しています。また、小松ガバナ―も、「会員はロータリーで何を得たいのかを理解し、楽しむ仲間を増やしましょう。そして、その活動を積極的に地域へ発信しましょう」と述べています。

会員維持と増強は、すべてのロータリアンにとって責任としての自覚と活力を生み出すものであり、その拡大はクラブの活性化や組織全体の活力向上につながります。今後は入会候補者にロータリーの魅力をどのように伝えるか、退会をどのように防ぐかについて、各クラブで具体的な対策を考えていく必要があります。

<役割と目標>

「ロータリーの活性化は会員増強にあり」という基本テーマのもと、公共イメージ委員会と連携し、積極的に活動を発信してまいります。そして、委員会活動を充実させ、各クラブとの協力体制を強化することで、「各クラブ2名以上の純増」「地区全体で100名の会員増強」を目標に掲げています。

<達成に向けての行動計画>

「新会員増強特別月間」設立

- 7月から10月の4か月間を「地区内新会員増強特別月間」と位置付け、各クラブと密接に連携し、年間を通じた「各クラブ純増2名以上、地区内100名増強」の実現を目指します。

セミナーとフォーラムの開催

- 「2800地区クラブ活性化セミナー・増強フォーラム」を開催し、会員増強の具体的な進め方やアイデア、退会防止策、女性会員の拡大、そして公共イメージ向上に繋がる内容を提供します。

地区大会での新会員歓迎セレモニー実施

- 11月の地区大会では、各クラブ会長とともに新会員に登壇いただき、歓迎セレモニーを計画します。

クラブ訪問を通じた支援

- 各クラブから要望があれば、会員増強に関する卓話を行います。これまで29クラブを訪問し得た学びや実践例、アイデアを共有してまいります。

会員増強のストーリー集発行

- 委員会事業として、3年前より企画を進めてきた「会員増強物語」を冊子としてまとめます。この冊子では、会員の立場から見たロータリーの魅力や入会の喜びなどを発信し、各クラブへの啓発に繋がります。

<むすびに>

私は、会員増強と拡大の本質は、「入会してよかった」「紹介してよかった」と思える満足度の向上にあると考えています。会員増強の目的は、単にクラブの会員数を増やすことではありません。ロータリークラブへの加入がどれほど個人にとって意義深く、自身の成長や奉仕活動に繋がるかを理解していただくことが最も重要です。それこそがクラブへの奉仕、地域社会への奉仕、ひいてはその人自身への奉仕に繋がると信じています。

人生は出会いの集積です。どのような人と出会い、どう繋がるのかは、人生を大きく左右します。そして、それこそがRI会長が掲げるメッセージ「よいことのために手を取り合おう！」に他なりません。

公共イメージ委員会(広報委員会)

～ ロータリーの魅力を伝える効果的な情報発信 ～

2025-2026年度公共イメージ委員会
委員長 伊勢 博(東根RC)

<はじめに>

小松ガバナーが掲げる公共イメージに関する方針は、ロータリーを一般の人々に広く紹介し、その理解と支援を促進することである。加えて、効果的な広報活動を通じて公共イメージを向上させることが、ロータリーブランド強化の鍵であるという認識を、ロータリーおよびローターアクトの会員に共有することを目指している。この目標を達成するため、以下の具体的な活動を計画・実施する。

<達成に向けての行動計画(案)>

- 情報発信活動
 - ソーシャルメディアやその他のマスメディアを活用し、地区やクラブの活動内容を積極的に発信する。
 - 地区やクラブで開催されている活動の情報や参考事例を収集する。
 - マスコミへのプレスリリースを積極的に行う。
 - LINEやFacebookなどの媒体を活用し、効率的な情報配信を行う。
- デジタル活用の推進
 - ウェブサイトおよびソーシャルメディアを活用して、一般の人々の関心を引くデジタルコンテンツを提供し、時代に即したデジタルプレゼンスを維持する。
 - 第2800地区の「ロータリーボイス(ブログサイト)」を新規開設し、会員の趣味や随想など、一般の人々が興味を持てる情報を発信する。
 - 「会員増強物語」を活用し、魅力あるロータリーの姿を広く紹介する。
 - ローターアクトと連携し、効果的な情報発信を推進する。
- テーマ別の情報発信
 - 「End Polio Now」キャンペーン、ロータリーの重点分野、補助金活動の成功事例、学友の活動などについて、多くの人々に向けて伝える。
 - 活動の成功事例を収集し、ウェブサイトに掲載することで、PR活動を強化する。
 - 第2800地区以外の成功事例をリサーチし、参考事例として紹介し活用する。
 - 山形県内で活動するボランティア団体に「End Polio Now」キャンペーンへの協力を呼びかける。

<セミナーの企画・開催>

- 公共イメージの向上に資するセミナーを企画し、開催することで、会員の意識向上および具体的な行動につなげる。

職業奉仕について

2025-2026 年度 職業奉仕アドバイザー
直前ガバナー 伊藤 三之 (山形北 RC)

地区職業奉仕アドバイザーとして、地区職業奉仕委員会にアドバイスしたことは次の通りです。

1 小松ガバナーエレクトは、職業奉仕について、

- ① 自分の内に奉仕の心を育て、その奉仕する心を持ちながら自分の仕事にあたること、別言すれば、内なる自分を見つめ直し、人格形成、自己啓発、倫理観醸成、高潔性維持などの自己改革を成し遂げること
- ② 職業を通じた社会貢献、別言すれば、自分の職業を通じて社会の発展や未来の創造のために奉仕すること

の二つに大別し、特に最近、国際ロータリーが重視している②のみならず、ロータリーの世界において多くの先人が積み上げてきた職業奉仕の精神に関わる①についてもしっかりと理解しなければならない、そうでなければ職業における倫理観の醸成や高潔性維持がなぜ必要なのかを理解することも困難になる、と指摘されます。

職業奉仕の考え方は難しいと言われてきましたが、確かに、小松ガバナーエレクトのおっしゃる2分類としてまずは捉えてみて、これまでロータリークラブが、そして、ロータリアンが行ってきた様々な職業奉仕活動について、整理して見て、次の事業展開のヒントを見つけ出すことが有益なのではないか、職業奉仕の正確な定義づけに関しては、その後、それぞれが自分の体験を踏まえながら検討してみる方が生き活きとした議論が生まれるのではないかと思うのです。

2 「それぞれの職業奉仕物語」

これまで、それぞれのクラブが、あるいはそれぞれのロータリアンが様々な職業奉仕活動を行ってきたはずですが。あるクラブでは、ロータリークラブメンバーの事業所を訪問し、自分の職業以外の仕事内容やその業界の現状や問題点を知ること、「役立つ仕事は価値あるものと認識」したかも知れません。地元の高校生を相手に、就職の模擬面接をすることを通して、「職業上の高い倫理基準を保つ」ことの重要性を説いてきたかも知れません。あるいは、ロータリアン各自が、普段の生活の中で、「ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」の重要性を実感する場面に遭遇したり、自ら「ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」を意識的に実践するような取り組みをしていることがあるかも知れません。

そこで、地区内49のすべてのクラブで、職業奉仕とは何かについて率直な議論をしていただき、各クラブから最低一つは「それぞれの職業奉仕物語」(主体はロータリークラブでも個々のロータリアンでもかまいませんが、1200字程度のショートストーリー)をご提出いただく活動をクラブ内でしてみたらいかがでしょうか。

参考までに、「それぞれの職業奉仕物語」をイメージしやすいように、私の個人的なエピソードのショートストーリーを最後に添付いたします。

- 3 地区の職業奉仕委員会が、その企画とサポートを行い、最低各クラブから1つ、合計49の「それぞれの職業奉仕物語」を取りまとめて、職業奉仕活動に関わる職業奉仕の色々な側面、視点を地区内のクラブ、ロータリアンにお示しできたらいいのではないかと思います。コンペ形式で表彰もし、それをもとに地区内で職業奉仕セミナーを開催することも有益かも知れません。
- 4 その際に、小松ガバナーエレクトのおっしゃる2分類を意識しながら、「それぞれの職業奉仕物語」を作成したり、それを取りまとめ整理したりする中で、各クラブもロータリアン各自も、そして地区委員会委員も、徐々に職業奉仕の理解を深めていくことが可能になるのではないのでしょうか。

ケンタッキーフライドチキンの対応力
－それぞれの職業奉仕物語－

伊藤三之（山形北RC）

昨年10月の夕方の出来事である。

その日、夕方6時に仕事が終わった後、私が車で15分ほどのケンタッキーフライドチキンショップ（山形北ジャスコ1階）に行き、ノーマルなフライドチキン6個とコールスローサラダ（Mサイズ）2個、さらに、その日に娘が食べたいと言ったスパイシーチキン3個を購入し持ち帰った。

夕方6時過ぎなので、夕食の準備のためか、ケンタッキーの店舗は混み合っていたが、10分ほどの待ち時間の後に購入した商品を受け取り、代金の支払いをして家路についた。

早速、家に帰って家族で食べようと食卓に商品を広げてみたら、スパイシーチキンが無かった。「パパ、スパイシーチキンも食べたいって言ったのに」と娘から言われた。「注文するの忘れたんでしょ」と言われ、私も自信が無くなって、商品の袋に入れてきたレシートを確認した。レシートにはスパイシーチキン3個分も記載されていた。つまり、その注文もして代金も支払ってきたのだ。

「車に忘れたんじゃないの」とも言われたので、車の中も探してみたが、もちろん無かった。

ショップの電話番号を調べて電話した。「あの、さっきフライドチキンを買って持ち帰って、見たら、フライドチキンとサラダはあったんですけど、注文して代金も支払ったはずのスパイシーチキン3個が袋に入ってなかったんです・・・」と話したら、電話に出た男性の方が、「お客様、大変申し訳ありません。うちの方で商品をお渡し忘れたものと思われます。すぐにお届けにあがります」との回答。私は、「レシートもあるので、それを持って私が店舗に伺いますけど」と話したら、「とんでもございません。私どもの方でお届けにあがります。お客様の住所をお知らせください。すぐにお届けいたします」とのこと。

待つこと20分ほど。さきほど電話で対応して頂いたと思われる男性の方が、玄関先で「お客様。この度は大変失礼いたしました。今後はこのようなことが無いように気をつけてまいります。スパイシーチキン3個と、あとはほんのお詫びのお気持ちですので」と言って、揚げたての熱々のスパイシーチキン3個の袋のほかに、スパイシーチキンがもう3個入っている袋を頂いた。

家族で、その経緯を何度も繰り返し話しながらの食卓となった。「本当は受け取って食べちゃったのに、袋に入ってなかったとか言う人がいるかも、とか考えなかったのかな」、「でも、おかげでスパイシーチキンいっぱい食べれて良かったね」、「住所からナビで調べたとしても、届けて頂いた対応がすごく早いよね。しかも、ものすごく丁寧」、妻や娘はその対応に感心しきり。

私は、妻と娘に、ケンタッキーフライドチキンの創業者カーネル・サンダース氏が熱心なロータリアンであったこと、店舗の前に立っているカーネル・サンダース像の胸にはロータリーバッジが光り輝いていることを自慢げに話した。

その日は、いつもより、フライドチキンがさらに美味しく感じた。

職業奉仕委員会

2025-2026 年度 職業奉仕委員会

委員長 横山 仁（南陽東 RC）

職業奉仕について、最近の R I は、職業を通じた社会貢献を職業奉仕の柱と位置付けて定着を図っております。しかし、これまで多くの先人が積み上げてきた職業奉仕の精神を学び、私たちの今後のロータリー活動や社会活動に活用する道を考えていく事はとても重要な事だと思っております。

いわゆる職業奉仕論は色々あるようですが、職業奉仕には、自分の内に奉仕の心を育て、その奉仕する心を持ちながら自分の職業に努めること、そして自分の職業を通じて社会の発展や未来の創造のために奉仕することの二つがあると考えます。先に述べた通り、近年の R I では、後者の役割が強調されることが多いようですが、前者をしっかりと理解しておかないと、倫理観の醸成、高潔性維持がなぜ必要なのかを理解することが困難になってきております。ですから第 2800 地区では、職業を通じた奉仕活動のみならず、内なる自分を見つめ直し、人格形成、自己啓発、倫理観の醸成、高潔性の維持などの自己改革を成し遂げることもその目的に含まれていると考えます。ロータリーの目的の第 2 にもあるように「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」とあります。ですからロータリーの精神をしっかりと理解した上で、自己の職業の実践にあたる職業奉仕の行動者であることを皆様に理解して頂き活動を行っていきたいと思っております。

最後になりますが、伊藤三之職業奉仕アドバイザーからの提案で、これまでそれぞれのクラブが行ってきた職業奉仕に関する事業の一コマ、ロータリアンが行ってきた職業奉仕に関する活動の一コマ、さらには、日常生活の中で体験した「職業奉仕の精神の核心」に触れるようなエピソードを、ショートストーリー形式で「それぞれの職業奉仕物語」と題しまして、地区内の各クラブ、各ロータリアンから広く募集し、それを地区職業奉仕委員会が整理分析して、地区内のクラブとロータリアンに広く知って頂くことで、「職業奉仕とは何か」を議論して頂けるのではないかと、そして職業奉仕の精神を感じ取って頂けるのではないかとアドバイスを頂きました。これらを踏まえて

1 「それぞれの職業奉仕物語」の募集、審査、表彰、整理、公表

ショートストーリー「それぞれの職業奉仕物語」の募集時期（本年 7 月から年内一杯を予定しております）、募集対象（各クラブで職業奉仕に関する議論をして頂き、クラブ内にて選考、最低各クラブ一つ、但し制限なしを想定しております）、字数は 1200 字程度などの募集要項、

2 そのための委員会の定期的な開催

基本は W E B 会議にて 2 カ月に一回程度の開催を予定しております。

3 それを踏まえて「職業奉仕」に関するセミナーの開催と致します。

セミナー開催要項（来年春の開催を予定しております）詳しい詳細は追って分かり次第正式に案内したいと思っております。

これらの事を踏まえれば小松ガバナーエレクトが掲げる「分かりやすい職業奉仕」を、誰にでも理解できる職業奉仕にしていけるのではないかとと思っております。

青少年奉仕・ローターアクトについて

2025-2026 年度 青少年奉仕・ローターアクトアドバイザー
パストガバナー 佐藤 孝子（鶴岡 RC）

小松ガバナーエレクトより青少年奉仕委員会とローターアクト委員会のアドバイザーを拝命いたしました、鶴岡 RC のパストガバナー佐藤孝子です。ローターアクト委員会は、次年度より青少年奉仕委員会から独立いたします。

小松ガバナーエレクトは青少年奉仕活動について大変経験豊富です。

基本方針『良い事をしよう！地域で、世界で未来のために』に基づいて、各委員長の皆さんと一緒に活動計画を実行出来るように協力したいと思います。

昨年度は「第 36 回全国ローターアクト研修会 山形会議」及び「第 27 回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」2 つの大きな全国大会が開催されました。大きな大会が重なりましたが大成功に終わりました。

今年度は 3 年計画、3 Year Rolling Goals の初年度として、青少年奉仕部門の充実の重要性を強調してロータリアンの総力を上げて取り組みたいと思います。具体的な活動内容はインターアクト委員会、RYLA 委員会、青少年交換委員会、ローターアクト委員会の各委員長の活動計画に詳しく示されています。

ローターアクト委員会は第 2800 地区ではまだまだ独立した体制にはなっていません。提唱クラブだけでなく、会員全員でローターアクトを育て応援していきましょう。

青少年奉仕委員会

2025-2026 年度 青少年奉仕委員会
委員長 大滝 正博 (余目 RC)

○インターアクト委員会

地区内に 8 校のクラブがあり、本年度もガバナーを始めとする関係者の全クラブ訪問を昨年度同様予定しております。本年度は、それぞれの属するグループ全会員にアナウンスしてその活動を見て頂きたいとの委員長の方針に協力して参ります。

○RYLA委員会

地域の次世代のリーダーを育てるとして開催してはいるものの、参加者が思うように集まらず、ローターアクト、米山奨学生、青少年交換帰国学生 (ROTEX) に頼る所も大きくなっています。近県を見ると、単独で開催している地区、ほとんど開催していない地区等があり、やはり参加者集めに苦慮している様子です。

今年度は、青少年交換委員会同様、多地区合同・輪番制での開催を模索する事とします。

○青少年交換委員会

年 11 回ほどの委員会があり、サマートリップの引率を入れると年 18 日ほどの事業と、大変ながらも達成感の大きい委員会と感じております。次年度も 3 名の派遣交換を目標に進めて行きたいと思えます。

例年、3 地区合同・輪番制で開催してきた派遣候補生のためのスプリングキャンプを、東北 6 県全 5 地区で開催していく予定です。

派遣候補生としての希望者はいるものの、ホストファミリーの受け入れ先の確保に苦慮しているのが現状です。ホストファミリーへの謝礼について、根本的に見直す必要もあるのではないのでしょうか。

各委員会の垣根を越えた横の繋がりを大切に、お互い手伝いながら事業、プログラムを達成させていきたいと考えます。

会員の皆様方におかれましてはなお一層のご理解ご協力の程宜しくお願いいたします。

インターアクト委員会

2025-2026 年度 インターアクト委員会
委員長 佐藤 一嘉（鶴岡西 RC）

インターアクトは、12～18 歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合いリーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区には、8 つのインターアクトクラブ（県立鶴岡中央高校、鶴岡東高校、羽黒高校、新庄東高校、創学館高校、惺山高校、県立南陽高校、九里学園高校）があり、それぞれ活発な活動を繰り広げています。その活動をスポンサークラブ以外のクラブにも周知するとともに、新たなインターアクトクラブの設立についても検討（試み）したいと思います。

1) インターアクトクラブの表敬訪問の充実

ガバナー始め地区関係者、スポンサークラブ関係者によるインターアクトクラブ表敬訪問（ガバナー公式訪問）を、インターアクターが実際に活動している時間帯に訪問して、実際の活動を視察し、一緒に参加したりします。

2) インターアクト年次大会のサポート

新庄東高校がホストクラブとなり年次大会が開催されます。

委員会でもスポンサークラブと一緒に、サポートして大会を意義あるものにし、アクターにとっても記憶に残る有意義な大会になるよう導きたいと思います。

3) 新たなインターアクトクラブの設立

特に、インターアクトクラブの存在しないグループを中心に、新たなインターアクトクラブの設立を検討および試みしたいと思います。

これら、3 つの計画の柱を重点に、地区内外研修など様々な活動を試み、青少年の視野を広め、奉仕のこころを育みたいと思います。

また、インターアクターの活動や声を積極的に取り入れ、ガバナー月信や SNS をとおし発信していきたいと思いますので、皆様ご協力をお願いいたします。

RYLA 委員会

2025-2026 年度 RYLA 委員会

委員長 朴 文秀 (鶴岡 RC)

1. RYLA は、若いリーダーを育て、若者同士がネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう若者の意欲を高めるためのプログラムです。「自分の可能性を広げたい」、「リーダーシップを発揮したい」、「世界を変えたい・・・」、そんな考えや夢を実現するための第一歩となるのが、この RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム) です。

『やる気のある青年を育て支援しましょう』を礎に、第 2800 地区内すべてのクラブおよび RYLA 学友からのご理解ご協力を頂き、ロータリー会員企業はもとより県内企業の若手や県内の大学生/大学院生を対象に次世代のリーダーとなる人材の育成と、これらの若者同士およびロータリアンとの間での良好なネットワーキングの構築を目指します。世界/日本/地域の将来の担う若者のみならず、これに関わるロータリアンにとっても、あらたな気づき、発見、出会いをもたらす触媒となるような RYLA 研修会を企画・運営していきたいと考えています。

是非、多数のロータリアンのご協力とご参加をお願い申し上げます。

2. RYLA でできること

地元で活躍する人や豊かな経験をもつ人たちと一緒に：

- ・ コミュニケーションや問題解決のスキルを磨く
- ・ 学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見する
- ・ 地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高めるような講演、仲間との交流を通じた学び
- ・ 自分の可能性を発見し、行動へとつなげる
- ・ 楽しみながら、生涯続く友情を培う

3. 活動スケジュール

- (1) 2025 年 7 月～12 月：地区内外の RYLA 研修内容の調査及び検証を行い、効果的なプログラムの構築について、ガバナー、アドバイザーおよび地区委員を含めて検討
- (2) 2025 年 1 月末まで：RYLA プログラムの企画・具体的な実施要項の作成
- (3) 2025 年 2 月以降：実施要項を地区内の各クラブに公開・伝達し、参加者を募集
- (4) 2025 年 5 月もしくは 6 月（1泊2日を予定）の RYLA 研修会の開催

多地区合同等の選択肢も排除はしないものの、地区内での単独開催を主として検討

青少年交換委員会

2025-2026 年度 青少年交換委員会
委員長 大泉 みどり (大江 RC)

ロータリーの青少年交換プログラムは、若者の育成と同時に、世界の平和を推進しています。交換学生を通じて私たちロータリアンや、このプログラムに関わる多くの人々が他国の人々と友情・信頼を育むことは、無益な戦争などが起こらない平和な社会に繋がります。

派遣学生は、オリエンテーションの中で、2025-26 年度小松ガバナーの基本方針「良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために」を共有し、山形のそして日本の素晴らしさを海外に広める親善大使としてより大きなインパクトをもたらすことを学びます。

また、私たちロータリアンは、地域の人たちにこのプログラムを知ってもらい参加してもらおう事で、共にインバウンド学生との交流を楽しみ他国への興味が増して世界を知る機会が増えるでしょう。その活動は、地域にロータリーを伝える良い機会となるでしょう。そして、子どもさんやお孫さん、ご家族が世界をぐっと身近に感じるようになるでしょう。

青少年交換委員会は、ガバナーはじめ皆様のご協力を得ながら、このプログラムの素晴らしさをより多くの会員に伝え参加していただけるように努めていきたいと思えます。

2025 年

7 月： 次年度（2026-2027）派遣候補学生の募集

県内の高校及び RI2800 地区各ロータリークラブへ募集要項書と募集ポスターを配布し募集を開始します。

対象は、現在、中学 3 年生～高校 2 年生です。ロータリアンの御子息も応募可能です。

8 月： **今年度（2025-2026）派遣学生 出発** 3 名予定（アメリカ、フランス、イタリア）

8 月： インバウンド学生 来日 3 名予定（アメリカ、フランス、イタリア）

8 月末：次年度（2026-2027）派遣候補学生の募集締め切り

9 月： 次年度（2026-2027）派遣候補学生の面接→選考→決定

10 月～7 回程度 オリエンテーション

対象者：派遣候補学生・インバウンド学生・スポンサークラブ・ホストクラブ等

12 月頃：派遣国内定

2026 年

6 月： インバウンド学生 帰国

6 月： **2025-2026 年度派遣学生 帰国**

別紙 2024-2025 年度 青少年交換委員会スケジュール（案）

2025-2026 年度 青少年交換委員会 年間スケジュール（案）

2025.03

会議名	開催日	会場	内容
第1回 委員会&刈り取り	7月12日（土）	寒河江市： チエリーパークホテル	今年度の活動計画・役割分担確認、ホスト RC 刈り取り、派遣学生決意表明
第2回 委員会&刈り取り	9月7日（日）	寒河江市： チエリーパークホテル	IBS 刈り取り 派遣候補学生面接試験
第3回 委員会&刈り取り	10月4日（土）	鶴岡市： 羽黒町手向	スポンサー RC・IBS・派遣候補学生刈り取り、 ROTEX 帰国報告 羽黒山石段歩き
地区大会	11月9日（日）	寒河江市： 文化センター	ROTEX・IBS・派遣候補学生挨拶 青少年交流会
第4回 委員会&刈り取り	12月20日（土） ～ 21日（日）	寒河江市： チエリーパークホテル	IBS・派遣候補学生刈り取り Xmas パーティー
第5回 委員会&刈り取り	1月10日（土）	RID2800 地区事務局（天童）	派遣候補学生刈り取り（書類確認）
多地区合同ウインターキャンプ	1月24日（土） ～ 26日（月）	蔵王ライザ	ホスト地区・ 2800 地区 対象:2800/2520/2530/2540/2830/2760
多地区合同スプリングキャンプ	3月未定	未定	ホスト地区・ ●●●●地区 対象:2800/2520/2530/2540/2830
第6回委員会&刈り取り	5月23日（土）	未定	派遣候補学生刈り取り、 ホスト RC 刈り取り、IBS 刈り取り
IBS TRIP	5月 or 6月 未定	行先 検討中	IBS、ROTEX、青少年交換委員参加
日本青少年交換研究会 ●●会議	5月 or 6月 未定	未定	IBS・派遣候補学生・ROTEX、青少年交換関係 者が参加
第7回 委員会&刈り取り	6月20日（土）	未定	ホスト RC 刈り取り IBS 送別会

※青少年交換学生募集 募集期間：2025年6月～8月末日（募集要項&ポスター発送：2025年6月）

ローターアクト委員会

2025-2026 年度 ローターアクト委員会

委員長 本間 安信（山形南 RC）

次年度の活動方針について

- ・ローターアクトの現状分析と課題の共有
- ・会員増強戦略
- ・活動内容の充実
- ・会議・例会の柔軟化
- ・山形県全体でのビジョン策定
- ・今後の具体的アクションプラン

次年度の活動計画について

1. 現状分析と課題の共有

- ローターアクト委員会での現状共有セッションの実施 各クラブのリーダーを招集し、現状の課題（会員数の少なさ、例会の開催難、活動不足）を整理します。これにより、全体の意識を共有し、共通の目標設定が可能となります。
- ロータリークラブとの橋渡し役の明確化 各クラブが地元のロータリークラブと連携し、支援を受けやすくする仕組みを整備します。特に、ローターアクトの重要性をロータリークラブに認識してもらうよう啓発活動を行います。

2. 会員増強戦略 若い世代へのリーチ

- 大学や専門学校と連携 ローターアクトの趣旨を伝えるためのセミナーを教育機関で実施し、20代前半の学生や若手社会人をターゲットにします。
- ソーシャルメディアキャンペーン 山形県内のローターアクト活動を紹介する SNS キャンペーンを展開し、活動の魅力を発信します。

具体案

- (1) シリーズコンテンツの投稿 ローターアクトの魅力を伝える「ストーリーポスト」 例：「私はローターアクトでこう変わった」シリーズ メンバーの個人的な成長や経験をストーリー形式で紹介します。キャリアアップや人間関係の広がりを具体的に伝え、若年層に共感を呼びます。

フォーマット：短い動画（1-2分）、写真+キャプション。ターゲット：若手社会人や学生。

「1分でわかるローターアクト」動画シリーズ ローターアクト活動の魅力を簡潔に伝える動画。

例：「地域清掃活動」「若手のリーダーシップ育成」「国際的な交流」など。YouTube ショートや Instagram リール、TikTok で配信。

- (2) ハッシュタグキャンペーン 例：#YamagataRotaract #未来を変える仲間たち #社会を動かす 20代 会員が活動の写真や動画を投稿し、ローターアクトの価値を視覚的にアピール。最も反響のあった投稿にはインセンティブを提供。
- (3) コラボ投稿 インフルエンサーの協力 地域の若手リーダーや影響力のある人物に協力を依頼し、ローターアクトの活動をシェアしてもらいます。
大学や企業との公式アカウントとのコラボ ロータリークラブをサポートする企業や大学と連携し、彼らの SNS でローターアクトの活動を紹介。
- (4) キャンペーン施策 新規フォロワー限定キャンペーン 新規フォロワーにローターアクトのイベントに無料招待する特典を提供。例：「初回参加無料チケット」や「グッズプレゼント」など。
メンバー勧誘チャレンジ メンバーが友人をローターアクトの例会やイベントに招待すると、参加者数に応じてポイントが貯まる制度を導入。トップメンバーには表彰。
- ロータリークラブ所属企業の支援を活用 社員の参加を奨励する企業を増やし、ローターアクト活動への時間的な理解を広げます。特に、ロータリークラブに社長が在籍している企業と密接に連携します。

3. 活動内容の充実

- 全県統一イベントの企画 各クラブが単独で実施しにくい大規模イベントを、2800 地区全体で企画します。
- クラブごとの小規模プロジェクト支援 各クラブが地域ニーズに基づいたプロジェクトを提案し、地区委員会がファシリテートやリソース提供を行います。

具体案

- (1) 学生・若手向けイベント キャリアデザインセミナー 内容：業界のリーダーを招き、キャリア形成やリーダーシップについて学ぶセミナー。ローターアクトメンバーがスピーカーとして経験談を語る時間も設ける。目的：社会貢献と自己成長の両立を実感させ、ローターアクトの魅力を伝える。
「地域課題解決」ワークショップ 地元の課題（環境保全、教育支援など）について議論し、解決策を提案する体験型ワークショップ。目的：若手社会人や学生の関心を引き、地域貢献を目指す仲間としてローターアクトに参加してもらう。
- (2) カジュアルな参加型イベント ソーシャルアクティビティ+懇親会 内容：地域清掃活動、植樹活動などの後、軽食付きの懇親会を実施。ローターアクトメンバーと直接交流する機会を設ける。目的：フォーマルな場を避け、気軽に参加できる雰囲気を提供。スポーツ交流イベント 内容：バレーボールやフットサルなどの軽いスポーツイベントを開催。学生や社会人の参加を促進。目的：フィジカルな活動を通じて楽しく絆を深める。
- (3) 地域イベントへの積極的参加 地元フェスや祭りでのブース出展 ローターアクトの活動を紹介し、興味を持った若者をその場で招待。例：ミニゲームや地域特産品を使った体験ワークショップを実施。

- (4) インパクトのある大規模イベント 地域一斉清掃チャレンジ 山形県全域でローターアクトメンバーが清掃活動を実施。その様子を SNS でライブ配信。一般参加者も招き、県民との一体感を醸成。「未来の山形を創る」フォーラム 内容：若手リーダーと地元行政と一緒に山形の将来について議論するフォーラム。ローターアクトメンバーが司会や発表役として参加。

4. 会議・例会の柔軟化

- バーチャルミーティングの導入 スケジュールの都合がつきにくいメンバーのために、オンライン例会を活用します。ハイブリッド形式で出席しやすい仕組みを整えます。
- 例会の多様化 例会の形式を固執せず、カジュアルな交流会や体験型イベントを月に 1 回取り入れるなど、柔軟性を持たせます。

5. 山形県全体でのビジョン策定

- 全クラブの意見を集約 各クラブの声を集め、山形県全体としての活動ビジョンを策定します。「山形県ローターアクト」のブランドを確立し、若い世代からの共感を得られるテーマを設定。
- ローターアクトの価値を再確認 クラブの目的（リーダーシップ向上、地域社会貢献、職業倫理の実践）をメンバーと共有し、活動に一体感を持たせます。

6. 今後の具体的アクションプラン

初年度（2025 年）：基盤づくり 全クラブ例会訪問を完了し、現状の課題を把握。

SNS キャンペーンや啓発イベントで会員増強を開始。

2 年目（2026 年）：活動拡大 県内全体イベントの開催。小規模プロジェクトの支援開始。

3 年目（2027 年）：持続可能な組織へ 各クラブが自立して活動を運営できる体制を整備。

会員数 100 人以上を目標にした増員計画を実現。

米山奨学事業について

2025-2026 年度 米山奨学・米山学友アドバイザー
パストガバナー 矢口 信哉 (東根 RC)

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

今や、米山記念奨学事業は外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体です。

そのすべての運営は我々ロータリアンの寄付金で賄われており、受け入れ奨学生数も米山奨学への寄付額により決定されます。第2800地区内には、特別寄付『0 (ゼロ)』のクラブも多数あるようで、地区委員や米山奨学生を例会行事に呼んでいただき、事業の目的や意義をご理解いただいて寄付金の増額につなげられればと念じております。

サブ世話クラブに、是非ご登録お待ちいたしております。米山奨学事業を理解するための例会が全クラブで開催されることをお願いいたします。

米山奨学・米山学友委員会

2025-2026 年度 米山奨学・米山学友委員会
委員長 田中 隆一（米沢 RC）

本年度は、『平和の架け橋となる人材育成のための奨学事業制度』がロータリアンからの寄付金が財源となっています事をご理解いただき、奨学生がロータリー会員との交流を通じて、奉仕の精神に触れ日本での生活が心豊かになり、ロータリアン会員には金銭的な支援だけでは得られない感動と事業への理解をしていただけますよう、下記の活動方針の実行により目標達成に繋がりますよう努めて参ります。

(1) 世話クラブの推進

- ・今年度の世話クラブは決定いたしましたので、世話クラブ会員の皆さまにも米山奨学生の理解を深めて頂き、交流を図って頂くよう推進する。
- ・世話クラブカウンセラーには安心して受諾して頂けるよう、オリエンテーションを更に充実したものにします。
- ・オリエンテーションには、世話クラブ、サブ世話クラブ、カウンセラー、指導教員を招き年間の打ち合わせや情報提供に心掛け、世話クラブ、サブ世話クラブの情報交換を促す。

(2) サブ世話クラブの推進

- ・全奨学生に対してサブ世話クラブを導入し、大学から遠方のクラブや世話クラブ経験の少ないクラブに、奨学生を訪問させ米山奨学生との交流の機会を作る。

※サブ世話クラブ登録のクラブ以外でも、奨学生の例会出席を促しクラブの活性化を図っていただきたい。

(3) 米山奨学生・米山学友による卓話の推進

- ・各クラブ依頼のもと、米山奨学生・米山学友も積極的に卓話に応じるように心がける。

(4) 米山学友会運営への支援

- ・米山学友会の HP や facebook の活用を推進。
- ・奨学期間が終了する奨学生には、山形米山学友会へ入会してもらい、facebook や LINE による情報交換を促進し、県外へ転出する奨学生との交流も図る。

(5) 米山奨学事業への理解促進

- ・地区行事、ガバナー月信、ロータリーの友で事業活動を P R し、同時に米山功労者を称える。
- ・ガバナー月信の企画「米山奨学・学友コーナー」に全ての米山奨学生と地区委員が投稿する。
- ・米山奨学生に、各クラブでの例会卓話や I M 等で活動してもらう。
- ・地区大会では、奨学生の出席の義務化をしていく。
- ・米山奨学会の公式ユーチューブや豆辞典に沿ったパワーポイントで事業説明を行うなどして会員に事業の意義を感じて頂く。

(6) 寄付の促進

- ・各グループガバナー補佐へ担当クラブの寄付状況を発信し、特別寄付のお願いをする。
- ・各クラブに過去の寄付状況を発信し、今後の目標設定をお願いする。
- ・目標達成クラブに寄付を募るための施策のアンケートを行うなどして、情報を周知する。
- ・最終目標である地区一人当たり年間寄付額 15,000 円の達成を目指す。

（普通寄付：一人 5,000 円）

（特別寄付：一人 1,000 円以上～10,000 円）

- (7)** 委員の情報交換などを行い、米山奨学生と学友とも機会があるごとに交流を深めて活動の実施により有意義な委員会運営を行う。

2025-2026年度 米山奨学・米山学友委員会 年間スケジュール（案）

2025年3月現在

会議名	開催日	会場	備考
米山奨学・米山学友セミナー	7月19日(土)	山形市 パレスグランデール	
米山カウンセラー研修会 米山交流会	9月13日(土) ～14日(日)	東京	
よねやまナイト in 寒河江	11月8日(土)	寒河江市 GEA0053	
地区大会	11月9日(日)	寒河江市 文化センター	
米山奨学生選考試験	12月13日(土)	山形市 メトロポリタン山形	
米山奨学生歓送会	2月7日(土)	山形市 パレスグランデール	
米山奨学生オリエンテーション カウンセラー説明会	4月4日(土)	山形市 メトロポリタン山形	
米山学友会総会	5月16日(土)	未定	

社会奉仕委員会

2025-2026 年度 社会奉仕委員会
委員長・パストガバナー 齋藤 榮助(米沢中央 RC)

今年度の社会奉仕委員会は「地域奉仕委員会」（佐藤昌則委員長・酒田中央 RC）「国際奉仕・ロータリー学友委員会」（武山茂委員長・天童東 RC）の方々と共に活動して参ります。

「社会奉仕委員会」と「国際奉仕委員会」は、標準ロータリークラブ定款の第 6 条 5 大奉仕部門の 3 項目と 4 項目に記載されていますので、各クラブはそのクラブ定款に即した活動を行う必要があります。

「社会奉仕委員会」は、地域の人々と協力して、人道的プロジェクトを推進し、人々の生活の質を高め、そして一般の人々の認識を高めるために実施されます。大多数のクラブは地区補助金を利用して、クラブ独自の多様な活動をされています。その目的に沿うようにアドバイスや成功事例を共有すべく支援してまいります。またロータリークラブの名称と徽章（バッジ）を使って行動していますので、中核的価値観（親睦、奉仕、リーダーシップ、多様性、高潔性）に基づいた行動計画が必要であり、公共イメージを向上するように心掛けねばなりません。

「国際奉仕・ロータリー学友委員会」は、国際理解、親善、平和を推進し、他国の人々を助ける事を目的とした活動であります。当地区はグローバル補助金を使っての国際協力することにあまり慣れていないのが現実です。しかしこの国際プロジェクト行うことは、ハードルが高いのですが、大変やりがいがある事業でもあります。不安な点や問題点を解決できるよう武山委員長の助力を戴きながら、力を合わせて推進して参ります。

小松ガバナーエレクトの重点目標、「それぞれの最上川ものがたり第 3 章」「蔵王の樹氷再生」は継続事業であり、全クラブが参加する環境保全に貢献する活動です。この活動にも、全面的に力を尽くして参ります。全メンバーのご協力よろしくお願い申し上げます。

地域奉仕委員会

2025-2026 年度 地域奉仕委員会
委員長 佐藤 昌則（酒田中央 RC）

2025-2026 年度地域奉仕委員会では、齋藤榮助社会奉仕委員長のもと、国際ロータリー 第 2800 地区の地区補助金事業のサポート役として本年度も頑張っていきたいと考えております。当方としても委員長をご拝命いただき 2 年目になります。2 年目にして見えてきた部分とそして地域奉仕委員会として発信していきたいことがあります。地区の発展は各クラブ様の地域に根差した素晴らしい事業に掛かっております。「ロータリー活動の基本はクラブ活動にあり、クラブの活性化こそがロータリーの活性化に繋がる」となり、当地域奉仕委員会がサポートをする必要のない優秀なクラブや特殊な事業もあるかと思いますが 2800 地区内他クラブの取組を知るのも今後の活動のヒントになるのではないのでしょうか？

社会奉仕委員会のお役目の一つに「クラブ間のコミュニケーション」があります。クラブ間のコミュニケーションが 2800 地区各クラブの良き事業のきっかけになるのではないかと感じております。地域に根ざす各クラブの事業はその地域特有のものだと思っておりますが、しかしその事業に取り組む方法は一つの角度からなるのものだけではございません。ベクトルの近い事業を行う各クラブでもその事業に対する考え方で事業を終えた時の効果は変わっていくものと感じます。そこで他のクラブの成功事例や失敗談の話が聞けたらもっと良い事業展開ができるのではないのでしょうか、我々が各クラブの皆様にごできることは 2800 地区内の事業を紹介しその事業の効果をお知らせすることだと考えております。各クラブの事業は地区としては把握しているもののその地域に対する効果の程はなかなか知ることが難しいと思っておりますが地域奉仕委員会内で良い方法で発信できるように考えていきたいと思っております。

2025-2026 年度 2800 地区 小松栄一ガバナーは地区内で社会奉仕を誰よりも深く理解するロータリアンです。地区事業に迷ったらずはご相談いただけたら更に良い事業になることだと思っております。各クラブの皆さまが楽しく奉仕活動ができますよう我々地域奉仕委員会もサポートをしていきたいと考えておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

国際奉仕・ロータリー学友委員会

2025-2026 年度 国際奉仕・ロータリー学友委員会
委員長 武山 茂 (天童東 RC)

2025～2026 年度の当委員会の役割等の“事業計画を主に”三つに分けて推進してまいります。

- (1) 国際奉仕をもっと身近に感じることが出来るように、クラブ会長とクラブ国際奉仕・R 学友委員長にわかりやすい情報を流し、各クラブ会員には国際奉仕をもっと解りやすく伝える場を提供します。特に国際奉仕プロジェクトは皆様の R 財団寄付金を使って行われることを熟知してもらい自分たちでの有効活用を促します。
- (2) グローバル補助金プロジェクトを三つに分類します。①一つは人道的プロジェクト(申請国と実施国のロータリアンが 7・重点分野のプロジェクトを実施してマイロータリーで推進記録)・②二つ目は(財団)奨学金制度を利用しての奨学生の派遣(地元の大学を卒業した学生に対して、海外の大学や教育機関で学業・研究を続けるための資金を提供する)・③三つめは職業研修(VTT)の選抜と訪問先での研修と交流(専門職業人のグループが海外に赴き、スキルや知識を学んだり、現地の専門職業人にスキルや知識を提供するプログラムです) ②の財団奨学生は小松 G 年度分はほぼ確定なので次の候補者発掘となります。①を中心に推進します。
- (3) 各・ロータリー学友や学友会の窓口となり学友とロータリーの関係強化に努めます。また、各地区委員と協力して学友会と学友行事を把握して、支援と手伝の手配を行います。その他には、学友の皆様にロータリー財団の仕組みやグローバル補助金への理解をさらに深めていただき「奨学生や職業研修生の発掘」に協力を要請します。

以上のことを踏まえて“2025 年 4 月の地区研修・協議会、9 月の国際奉仕・ロータリー学友委員会のセミナー、当委員会委員の卓話訪問”等でグローバル補助金への理解と仕組みの親しみやすさを伝えてまいります。

ロータリー財団委員会

2025-2026 年度 ロータリー財団
委員長・パストガバナー 大久保 章宏 (山形南 RC)

ロータリー財団は

1917年、アーチ・クランフ RI 会長が「世界で何か良いことをしよう」のかけ声とともにロータリー基金が創設され、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。ロータリーは100年以上にわたり、世界によい事をして来ました。そのバックボーンとしてのロータリー財団の存在は大きなものが有ります。ロータリー財団の貢献は、近年ポリオ撲滅に向けて全世界の会員が一致団結し取り組む大事業が有り、あと一步のところまで来ました。昨年、日本のロータリーポリオ根絶大使として結核予防会理事長尾身茂さまが就任され、ロータリーと共にポリオ根絶に動きました。

- ロータリー財団年次寄付 地区目標額達成 150ドル/会員一人当たり
ポリオプラス寄付 地区目標額達成 30ドル/会員一人当たり
全会員がロータリー財団を理解していただき、寄付額達成のために活動します。
 - 補助金の有効的な活用と達成率
小松ガバナーエレクトの「良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために」を実現するために補助金の有効的な活用を推進します。ロータリー財団の目標額達成率も加味して参ります。是非達成し、補助金を活用し良い事をしましょう。
 - ロータリーカードの普及促進
全国各地区の中でも普及が進んでいない地区が2800地区です。
個人としてクラブとしての活用推進を目指します。
 - 平和フェローとポリオプラス
ロータリーの目指す世界平和の推進のため、世界中に平和センターが設立されています。日本にはICU国際基督教大学に設置されており、多くの学生が卒業後平和維持活動、国際機関等で活躍しています。2月にイスタンブールに新たな7校目の平和センターがオープンします。またポリオプラスは、根絶を目指して皆様方の援助を必要としています。是非地区一丸となり目標達成に邁進していきましょう。
- ※ 小松ガバナーエレクトの目標達成のため、地区内会員一丸となり取り組みましょう。

補助金・奉仕プロジェクト委員会

2025-2026 年度 補助金・奉仕プロジェクト委員会

委員長 安孫子 俊彦（山形東 RC）

ロータリー財団は、財団の使命（ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること）と合致する事業に対して補助金を支給しています。

補助金・奉仕プロジェクト委員会は、小松ガバナーの基本方針、「良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために」に基づき各種プロジェクトを計画しているクラブに対し、ロータリー財団の補助金の積極的活用を奨励していきます。

具体的には以下の活動を行います。

- 1 セミナー、卓話等によって、補助金に関する理解を深める活動を行います。特に、クラブの参加資格（補助金の資金管理に必要な体制をクラブが備えていること）、補助金の申請手続、報告要件に関する情報を提供します。
- 2 地域奉仕委員会及び国際奉仕・ロータリー学友委員会と連携し、地区補助金及びグローバル補助金の有効活用を行います。
- 3 補助金を利用して大きな成果を挙げたプロジェクトや活動を紹介するなどして、ロータリー財団への寄付を奨励していきます。
- 4 ポリオ根絶に向けた活動（ポリオの認識向上、募金、地域社会の動員、政府や民間への支援の働きかけ）への参加やロータリー平和センタープログラムへの参加を奨励していきます。

資金推進・管理（平和フェロー・ポリオプラス）委員会

2025-2026 年度 資金推進・管理（平和フェロー・ポリオプラス）委員会
委員長 小野 幸作（寒河江 RC）

2025-2026 年度 小松栄一ガバナー年度において、当委員会の活動は、以下を目標として取り組みます。

1. 地区目標となっておりますロータリー財団年次基金へ150ドル/人（普通寄付50ドル・特別寄付100ドル）の寄付、ポリオプラスへ30ドル/人の寄付を目標として皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。
2. 当委員会は、「平和フェロー」及び「ポリオプラス」に対する地区の寄付は、それぞれ2万ドルとし世界平和及びポリオの根絶に対して、地区として積極的に貢献すべきと考えております。
3. 社会奉仕委員会 地域奉仕委員会 / 国際奉仕・ロータリー学友委員会、ロータリー財団委員会 補助金・奉仕プロジェクト委員会とも協力して、地区補助金及びグローバル補助金の活用の奨励に努めます。

当委員会は、「平和フェロー」及び「ポリオプラス」に対し、地区として積極的に貢献すべきと考えております。

提出書類について

ガバナー補佐

- **2026-2027 年度（伊藤年度）ガバナー補佐適任者推薦書**

- * 締切：2025 年 5 月末日

- * 提出先：地区事務局（F A Xまたはメール）

- **クラブ現況報告書**

- * 締切：第 1 回 クラブ協議会終了後

- 第 2 回 来年（2026 年）4 月中

- * 提出先：地区事務局（F A Xまたはメール）

- **I M開催計画書**

- * 締切：確定次第、早い時期にお願いします。ガバナーとの日程調整をお願いします。

- * 提出先：地区事務局（F A Xまたはメール）

- **3 月 22 日(土) PELS でのガバナー補佐・クラブ会長との検討内容**

- * 締切：3 月 22 日（土）PELS 終了後、速やかにご提出ください。

- * 提出先：地区事務局 メール添付（Word）で送付をお願いします。

地区委員長

- **地区研修・協議会における分科会配布資料**

- * 地区委員会の委員長は、3 月 22 日（土）の PELS で G E と討議した上で、地区研修・協議会の分科会配布資料を提出してください。

- * 締切：4 月 4 日（金）まで

- * 提出先：地区事務局 メール添付(Word)で送付をお願いします。

- **セミナー開催計画書（ガバナーエレクトが要請、または了解したセミナー）**

- * 締切：セミナー開催の 2 カ月前

- * 提出先：地区事務局（F A Xまたはメール）

クラブ現況報告書 (年 月 日)

※ガバナー補佐が、担当クラブの状況をまとめてご提出ください。

(ガバナー補佐 氏名: _____)

第 _____ グループ _____ ロータリークラブについて

1. クラブへの通算訪問回数

これまでに、ガバナー補佐として _____ 回の訪問

2. クラブ健康チェックの実施状況と問題点

3. クラブにおける奉仕プログラム事業の実施状況、または予定内容

4. クラブにおけるフォーラムの実施状況または予定内容

5. クラブにおける地区行事への参加状況

6. 地区数値目標の達成状況、新入会者数、退会者数

財団寄付

米山寄付

年度内の新入会者数 _____ 人 および 退会者数 _____ 人

7. その他 (特筆すべき事)

締切: ①クラブ協議会終了後 ②年度後半 4 月中 の計 2 回 (F A X またはメールで報告)

国際ロータリー第 2800 地区 地区事務局 住所 〒994-0027 天童市桜町 2-20

提出先 TEL: 023-687-0208 FAX: 023-687-0209 e-mail: office@rid2800.org

小松年度（2025-2026年度）今後の予定

★ガバナーエレクト年度（2024年7月～2025年6月）

2025年

- 3月22日（土） 会長エレクトラーニングセミナー（PELS）
（セミナー会場：寒河江市中央公民館・懇親会会場：シンフォニーアネックス）
- 4月19日（土） 地区研修・協議会（会場：寒河江市文化センター）

★ガバナー年度（2025年7月～2026年6月）

2025年

11月8日（土）・9日（日） 地区大会（会場：寒河江市文化センター・シンフォニーアネックス）

- 米山奨学・米山学友セミナー
- ロータリー財団セミナー
- クラブ活性化セミナー
- 会員増強セミナー

2026年

- 職業奉仕セミナー

事務局からのお願い

日頃より国際ロータリー第2800地区の運営に際し、ご理解とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。円滑な地区運営を推進する為に、下記ご留意いただければ幸いに存じます。

- メークカードは、セミナー毎の資料の最終ページに組み入れております。こちらをご使用いただき各クラブにご提出の程宜しくお願い申し上げます。
- 各ご案内のご出欠返信に際し、期限内返信のご協力をお願い申し上げます。
- 地区スタッフネームホルダーは、セミナー毎での配布回収は致しません。ご在任期間中、各自でご管理とご持参を宜しくお願いいたします。

会長エレクトローニングセミナー（PELS）地区関係者 出席者リスト

2025年3月22日（土）

No	役職名	氏名	所属RC	セミナー	懇親会	宿泊	朝食	備考
1	ガバナー / 次期クラブ奉仕アドバイザー 次期ロータリー財団委員会監査委員会委員長	芳賀 康雄	白鷹	○	○	○	○	
2	直前ガバナー / 次期地区ローニングファシリテーター 次期職業奉仕アドバイザー	伊藤 三之	山形北	○	○	○	○	
3	パストガバナー	遠藤栄次郎	山形西	×	×	×	×	
4	パストガバナー	安孫子貞夫	寒河江	○	○	×	×	
5	パストガバナー	藤川 享胤	鶴岡	×	×	×	×	
6	パストガバナー	野々村政昭	山形	×	×	×	×	
7	パストガバナー	石黒 慶一	鶴岡西	×	×	×	×	
8	パストガバナー	大友 恒則	米沢中央	×	×	×	×	
9	パストガバナー	武田 和夫	山形南	×	×	×	×	
10	パストガバナー	佐藤 豊彦	天童	×	×	×	×	
11	パストガバナー	細谷 伸夫	山形西	×	×	×	×	
12	パストガバナー	和田 廣	南陽東	×	×	×	×	
13	パストガバナー	池田 徳博	鶴岡西	×	×	×	×	
14	パストガバナー	酒井 彰	米沢上杉	×	×	×	×	
15	パストガバナー	長谷川憲治	山形	○	○	×	×	
16	パストガバナー	鈴木 一作	寒河江	×	×	×	×	
17	パストガバナー / 次期会員増強アドバイザー	上林 直樹	酒田中央	○	○	○	○	
18	パストガバナー / 次期地区研修サブリーダー 次期ロータリー財団委員長	大久保章宏	山形南	○	○	○	○	
19	パストガバナー / 次期地区研修サブリーダー 次期社会奉仕委員長	齋藤 榮助	米沢中央	○	○	×	×	
20	パストガバナー / 次期米山奨学・米山学友アドバイザー	矢口 信哉	東根	○	○	○	○	
21	パストガバナー / 次期青少年奉仕・ローターアクトアドバイザー	佐藤 孝子	鶴岡	○	○	○	○	
22	ガバナーエレクト	小松 栄一	寒河江	○	○	×	×	
23	ガバナーノミニー	伊藤 修二	山形	○	○	×	×	
24	ガバナーノミニー・デジグネート	工藤亜紀子	酒田東	○	○	○	×	
25	次期第1グループガバナー補佐	池田 健一	酒田中央	○	○	○	×	
26	次期第2グループガバナー補佐	西川富美子	鶴岡	○	○	×	×	
27	次期第3グループガバナー補佐	須藤 智	天童	○	○	×	×	
28	次期第3グループガバナー補佐	小室 淳	村山ローズ	○	○	×	×	
29	次期第4グループガバナー補佐	和田 義弘	河北	○	○	×	×	
30	次期第5グループガバナー補佐	伊藤 明彦	山形北	○	○	○	○	
31	次期第5グループガバナー補佐	枝松 祐子	上山	○	○	○	×	
32	次期第6グループガバナー補佐	金子 良弘	高畠	○	○	○	×	
33	次期第6グループガバナー補佐	田中 元	長井中央	○	×	×	×	
34	次期クラブ奉仕委員会委員長	高嶋 俊幸	山形西	○	○	×	×	
35	次期クラブ奉仕委員会 ローター情報委員会委員長	平山 順一	米沢中央	○	○	○	×	
36	次期会員増強委員会委員長	赤塚 弘実	天童東	×	×	×	×	
37	次期会員増強委員会 公共イメージ委員会委員長	伊勢 博	東根	○	○	×	×	
38	次期職業奉仕委員会委員長	横山 仁	南陽東	○	○	○	×	
39	次期青少年奉仕委員会委員長	大滝 正博	余目	○	○	○	○	
40	次期青少年奉仕委員会 インターアクト委員会委員長	佐藤 一嘉	鶴岡西	○	○	○	○	
41	次期青少年奉仕委員会 RYLA委員会委員長	朴 文秀	鶴岡	○	○	○	○	
42	次期青少年奉仕委員会 青少年交換委員会委員長	大泉みどり	大江	○	○	×	×	
43	次期ローターアクト委員会委員長	本間 安信	山形南	○	○	×	×	
44	次期米山奨学・米山学友委員会委員長	田中 隆一	米沢	○	○	○	○	
45	次期社会奉仕委員会 地域奉仕委員会委員長 (次期補助金・奉仕プロジェクト委員会委員)	佐藤 昌則	酒田中央	○	○	×	×	

会長エレクトローニングセミナー（PELS）地区関係者 出席者リスト

2025年3月22日（土）

No	役職名	氏名	所属RC	セミナー	懇親会	宿泊	朝食	備考
46	次期社会奉仕委員会 国際奉仕・ロータリー学友委員会委員長 (次期補助金・奉仕プロジェクト委員会委員)	武山 茂	天童東	○	○	×	×	
47	次期ロータリー財団委員会 補助金・奉仕プロジェクト委員会委員長	安孫子俊彦	山形東	○	×	×	×	
48	次期ロータリー財団委員会 資金推進・管理 (平和フェロー・ポリオプラス) 委員会委員長	小野 幸作	寒河江	×	×	×	×	
49	地区ローターアクト代表エレクト	春日 七虹	西村山RAC	○	×	×	×	
50	地区幹事	江口 俊雄	白鷹	○	○	×	×	
51	地区資金委員長	青木 浩二	白鷹	×	×	×	×	
52	地区統括副幹事(事務局長)	今間 邦雄	白鷹	×	×	×	×	
53	伊藤年度地区幹事	和田 宏司	山形	○	○	×	×	
54	伊藤年度地区資金委員長	伊藤 吉明	山形	○	○	×	×	
55	伊藤年度事務局長	阿部 龍太	山形	○	○	×	×	
56	次期統括委員会・地区幹事	國井 晴彦	寒河江	○	○	×	×	
57	次期統括委員会・地区資金委員長	高橋 恒之	寒河江	○	○	×	×	
58	次期統括委員会・地区事務局長 / 次期地区大会(総務部会担当)	沖津 博	寒河江	○	○	×	×	
59	次期地区副幹事(クラブ奉仕担当)	大沼 仁	寒河江	○	○	×	×	
60	次期地区副幹事(会員増強担当)	古川 直仁	寒河江	×	×	×	×	
61	次期地区副幹事(公共イメージ担当)	阿部 寛	寒河江	×	×	×	×	
62	次期地区副幹事(職業奉仕担当)	阿部 清	寒河江	○	○	×	×	
63	次期地区副幹事(インターアクト担当)	木村 洋祐	寒河江	×	×	×	×	
64	次期地区副幹事(インターアクト担当)	今田 優子	寒河江	○	×	×	×	
65	次期地区副幹事(青少年交換担当)	田中 英司	寒河江	○	×	×	×	
66	次期地区副幹事(RYLA担当)	菅野 章裕	西川月山	○	○	×	×	
67	次期地区副幹事(ローターアクト担当)	若月 孝	大江	○	○	×	×	
68	次期地区副幹事(米山奨学・米山学友担当)	大江 幸友	寒河江	×	○	×	×	
69	次期副幹事・次期地区副幹事(地域奉仕担当)	鴨田 紀昭	寒河江さくらんぼ	×	×	×	×	
70	次期地区副幹事(国際奉仕・ロータリー学友担当)	安孫子文亮	河北	○	×	×	×	
71	次期地区副幹事(ロータリー財団担当)	水戸部秀雄	寒河江	○	×	×	×	
72	次期地区会計	波月 泉穂	寒河江	×	○	×	×	
73	次期地区会計監査委員	小野 承信	寒河江	○	×	×	×	
74	地区チーム研修セミナー実行委員長	荒木 良市	寒河江	×	×	×	×	
75	PETS実行委員長	奥山 吉一	寒河江	○	○	×	×	
76	地区研修・協議会実行委員長	古澤康太郎	寒河江	○	×	×	×	
77	次期地区大会実行委員長	安藤 博章	寒河江	○	×	×	×	
78	次期地区大会副実行委員長	秋場 秀俊	寒河江	○	○	×	×	
79	次期地区大会(懇親部会担当)	佐藤 敏	寒河江	○	○	×	×	
80	次期ガバナー月信編集長・次期ロータリーの友委員	小松 健造	寒河江	○	○	×	×	
81	次期ガバナー月信編集委員	鈴木 正洋	寒河江	○	○	×	×	
82	寒河江ロータリークラブ 次期幹事	早坂 徹	寒河江	○	×	×	×	
83	寒河江ロータリークラブ 会員	渡邊 保夫	寒河江	○	×	×	×	
84	寒河江ロータリークラブ 会員	酒井原京子	寒河江	×	○	×	×	
85	地区事務局	菅野 真紀		○	○	×	×	
	合計			61名	52名	17名	11名	

2025.3.21現在

会長エレクトラーニングセミナー（PELS）RC・RAC 出席者リスト

2025年3月22日（土）

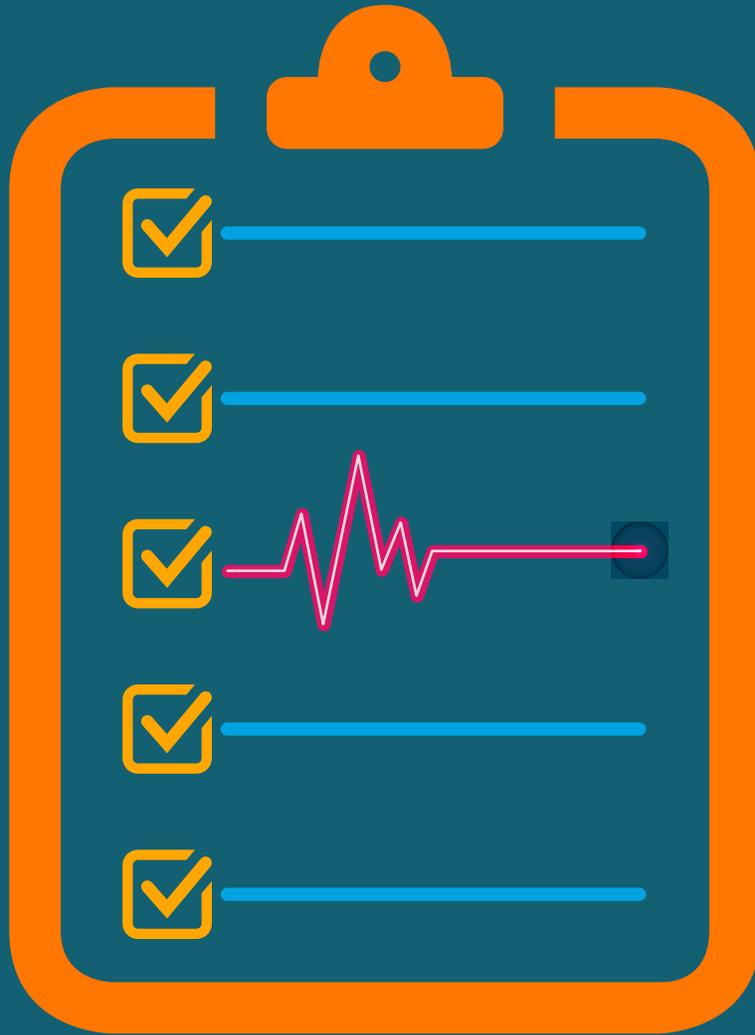
No	役職名	氏名	所属RC	セミナー	懇親会	宿泊	朝食	備考
1	酒田ロータリークラブ 会長エレクト	高橋 弘哉	酒田	○	○	×	×	
2	酒田東ロータリークラブ 会長エレクト	齋藤 仁	酒田東	○	○	○	○	
3	酒田中央ロータリークラブ 会長エレクト	酒井 学	酒田中央	○	○	×	×	
4	酒田スワンロータリークラブ 会長エレクト	広瀬 明	酒田スワン	○	○	×	×	
5	酒田湊ロータリークラブ 会長エレクト	加藤 雄二	酒田湊	○	○	○	×	
6	鶴岡ロータリークラブ 会長エレクト	富樫 松夫	鶴岡	○	○	×	×	
7	鶴岡西ロータリークラブ 会長エレクト	鈴木 孝純	鶴岡西	○	○	×	×	
8	余目ロータリークラブ 会長エレクト	齊藤 薫	余目	○	×	×	×	
9	鶴岡東ロータリークラブ 会長エレクト	田村 勝	鶴岡東	○	○	×	×	
10	鶴岡南ロータリークラブ 会長エレクト	松田 博美	鶴岡南	○	○	×	×	
11	天童ロータリークラブ 会長エレクト	須藤 孝一	天童	○	○	×	×	
12	東根ロータリークラブ 会長エレクト	高橋 辰雄	東根	○	○	×	×	
13	天童東ロータリークラブ 会長エレクト	土屋 政浩	天童東	○	×	×	×	
14	天童西ロータリークラブ 会長エレクト	神村 匡	天童西	○	○	×	×	
15	天童西ロータリークラブ 次期幹事	伊藤としえ	天童西	○	×	×	×	
16	東根中央ロータリークラブ 会長エレクト	菅 隆一	東根中央	○	○	×	×	
17	村山ロータリークラブ 会長エレクト	佐竹 義弘	村山	○	○	×	×	
18	新庄ロータリークラブ 会長エレクト	阿部 真也	新庄	○	×	×	×	
19	尾花沢ロータリークラブ 会長エレクト		尾花沢	×	×	×	×	
20	最上ロータリークラブ 会長エレクト	山田 孝	最上	○	×	×	×	
21	尾花沢中央ロータリークラブ 会長エレクト	岩崎 雄策	尾花沢中央	○	○	×	×	
22	村山ローズロータリークラブ 会長エレクト	檜山 智子	村山ローズ	○	○	×	×	
23	新庄あじさいロータリークラブ 会長エレクト	高山 秀樹	新庄あじさい	○	○	○	○	
24	寒河江ロータリークラブ 会長エレクト	遠藤 伸一	寒河江	○	○	×	×	
25	大江ロータリークラブ 会長エレクト	春日 茂	大江	○	○	×	×	
26	河北ロータリークラブ 会長エレクト	田宮 智聡	河北	○	○	×	×	
27	寒河江さくらんぼロータリークラブ 会長エレクト	佐藤 和典	寒河江さくらんぼ	○	○	×	×	
28	西川月山ロータリークラブ 会長エレクト	佐藤 仁	西川月山	○	○	×	×	
29	山形ロータリークラブ 会長エレクト	榎森 啓	山形	○	○	×	×	
30	上山ロータリークラブ 会長エレクト	大坂 広志	上山	○	○	○	×	
31	山形西ロータリークラブ 会長エレクト	五十嵐 信	山形西	○	○	○	×	
32	山形北ロータリークラブ 会長エレクト	野村百合子	山形北	○	○	×	×	
33	山辺ロータリークラブ 会長エレクト	竹俣 朋	山辺	○	○	×	×	
34	山形南ロータリークラブ 会長エレクト	奥村 健二	山形南	○	○	×	×	
35	中山ロータリークラブ 会長エレクト	工藤 強	中山	○	○	×	×	
36	山形東ロータリークラブ 会長エレクト	森本美知子	山形東	○	○	×	×	
37	山形中央ロータリークラブ 会長エレクト	本間 雅之	山形中央	○	○	×	×	

会長エレクトローニングセミナー（PELS）RC・RAC 出席者リスト

2025年3月22日（土）

No	役職名	氏名	所属RC	セミナー	懇親会	宿泊	朝食	備考
38	山形イブニングロータリークラブ 会長エレクト	浦山 一豊	山形イブニング	○	○	×	×	
39	米沢ロータリークラブ 会長エレクト	安部 勇人	米沢	○	○	○	○	
40	長井ロータリークラブ 会長エレクト	小笠原信吾	長井	○	×	×	×	
41	米沢上杉ロータリークラブ 会長エレクト	高木 茂之	米沢上杉	○	○	○	×	
42	南陽ロータリークラブ 次期幹事	落合 敏幸	南陽	○	○	○	○	
43	白鷹ロータリークラブ 会長エレクト	黒澤 利朗	白鷹	○	○	×	×	
44	高畠ロータリークラブ 会長エレクト	庄司 薫	高畠	○	○	○	○	
45	小国ロータリークラブ 会長エレクト	佐藤 靖彦	小国	○	○	×	×	
46	米沢中央ロータリークラブ 会長エレクト	島貫 正弘	米沢中央	○	○	○	×	
47	南陽東ロータリークラブ 会長エレクト	梅津 秀樹	南陽東	○	○	○	×	
48	長井中央ロータリークラブ 会長エレクト	青木 浩二	長井中央	○	×	×	×	
49	米沢おしょうしなロータリークラブ 会長エレクト	土田 一成	米沢おしょうしな	○	×	×	×	
50	南陽臨雲ロータリークラブ 会長エレクト	松田 孝一	南陽臨雲	○	○	×	×	
51	酒田ローターアクトクラブ 会長エレクト		酒田RAC	×	×	×	×	
52	鶴岡ローターアクトクラブ 会長エレクト		鶴岡RAC	×	×	×	×	
53	西村山ローターアクトクラブ 会長エレクト	島津 大輝	西村山RAC	○	○	×	×	
54	東北文教大ローターアクトクラブ 会長エレクト		東北文教大RAC	×	×	×	×	
55	山形ローターアクトクラブ 会長エレクト		山形RAC	×	×	×	×	
56	南陽東ローターアクトクラブ 会長エレクト		南陽東RAC	×	×	×	×	
57	米沢ローターアクトクラブ 会長エレクト		米沢RAC	×	×	×	×	
	合計			50名	42名	11名	5名	

2025.3.21現在



クラブの 健康チェック

健康を維持し、病気を予防するには、定期的な健康診断が欠かせません。これと同じように、クラブを定期的に診断して問題点を見つけ、その対処法を探ることが大切です。この資料は、クラブリーダーがクラブの現状を把握し、会員と地域社会にとってクラブが価値ある存在であり続けるために何ができるかを考えることを目的としています。まずは過去12カ月間を振り返り、あなたのクラブに当てはまる項目に印をつけてクラブの健康度をチェックした上で、その結果をクラブ役員と話し合しましょう。印がつかない項目が四つ以上あるセクションは、重点的に取り組む必要があるかもしれません。問題のある分野を見つけたら、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう。

クラブでの経験



クラブで充実した時間を過ごしている会員は、退会を考えることはないでしょう。会員が心から楽しみ、意欲的に活動していれば、周囲の人にもそれが伝わり、クラブ全体の活気が高まります。大切なのは、例会や奉仕活動に参加するだけでなく、仲間との交流を楽しみ、ロータリー会員であることに誇りをもてることです。

- 私は例会やその他のクラブ活動を楽しみにしている。
- 例会の内容は、興味深く、意義があり、多様性に富んでいる。
- 例会で会員や来訪者を迎え入れる挨拶係がいる。
- 例会はしっかりと企画、運営されている。
- 会員は毎回の例会で違う人と会話するようにしている。
- クラブで新しい友人を作ることができた。
- 会員の体験を充実させるために、新しいこと（活動、例会の方法や形式、奉仕、親睦など）に挑戦している。
- 卓話ゲストを選ぶ際／来訪者を迎え入れる際／ディスカッションのトピックや奉仕活動を選ぶ際に、インクルーシブ（包摂的）であることを心がけている。
- 役員だけでなく、ほかの会員も地区や国際的なロータリー行事に参加している。
- ほとんどの会員がロータリーの奉仕部門と重点分野について知っており、プロジェクトに参加し、クラブの一員であることを誇りとしている。
- 会員がそれぞれ支援を望む活動や分野に寄付できるようにしている。
- 会員を賞に推薦したり、表彰したりすることで、その奉仕、参加、寄付に感謝の意を示している。
- ロータリーを通じて海外とのネットワークを築いてきた。
- 来訪者に自己紹介をしてもらい、再び招待するようにしている。
- 柔軟な例会の方法（バーチャルまたは対面式での出席、欠席した場合に例会の録画を見る、など）を会員に提供している。

コメント欄

次のページで診断と処方箋をご覧ください





期待通りの体験ができないと感じている会員は、クラブへの不満が原因で退会してしまうリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
例会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新しいことを例会に取り入れる。 ⊕ 直接対面式で例会ができないときにオンライン例会を開く。または、希望する会員や会場に来られない会員がバーチャル形式で出席することを認める。 ⊕ デジタルの分野が得意なクラブ／地区の会員を見つけ、オンライン例会を運営／援助してもらう。 ⊕ 国際ロータリー事務局のクラブ・地区支援担当職員に連絡してアイデアを得る。
クラブを超えたロータリーでの体験	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ほかのローターアクトクラブまたはロータリークラブのスポンサーとなる。 ⊕ インターアクトクラブを設立するか、インターアクトクラブと一緒に活動する。 ⊕ ロータリーの各種プログラムを会員に紹介し、参加を奨励する。RYLAを実施／奨学金を提供／青少年交換に参加する。 ⊕ ロータリー友情交換やロータリー行動グループへの参加を呼びかける。 ⊕ 全会員が参加できる地区行事への出席を奨励する。参加経験者に体験談や参加のメリットを話してもらう。 ⊕ 地元や海外のロータリーとローターアクトの活動（ポリオ根絶を含む）を紹介する。 ⊕ 地元のトーストマスターズクラブと協力して、会員がリーダーシップとコミュニケーションのスキルを磨く機会を提供する。 ⊕ ほかのクラブを訪問して新しい人と出会い、自分のクラブで実施できる活動のアイデアを得る。
期待に沿わない体験	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員満足度調査を活用して、会員が例会に何を望むかを調べ、期待通りの体験ができるように改善する。 ⊕ リーダーシップスキルを高めるために、トーストマスターズ・インターナショナルが開発したオンラインコースの利用を会員に勧める。

奉仕と親睦



ロータリーに入会する理由、および会員であり続ける主な理由は、「地域への奉仕」と「仲間との親睦」です。会員がさまざまな方法でクラブに参加できるよう、バラエティーに富んだ親睦行事や奉仕活動を企画し、楽しく、意義ある形で地域に貢献できるようにしましょう。

- 親睦や交流を目的とした集まり（例会以外）を定期的に行っている。
- 家族や友人同伴で例会や行事に出席することを奨励している。
- 会員がリーダーシップを発揮する機会や、職業的に成長できる機会がある。
- ロータリーファミリーのメンバー（インターアクター、ロータリー青少年交換学生、ロータリー平和フェローなど）を例会や行事に招いている。
- ローターアクトまたはインターアクトクラブをスポンサーしている／青少年交換学生または新世代交換に参加している／RYLA行事を実施している。
- 協力団体や支援者、学友と直接連絡を取り合っている。
- 実施するプロジェクトを決める前に、地域社会のニーズについて地元リーダーや市民の声を聞くようにしている。
- 新しいプロジェクトを選ぶ前に、My ROTARYのフォーラムを参照したり、プロジェクトフェアに参加したり、財団専門家グループや協力団体に相談したりしてアイデアを得ている。
- 奉仕プロジェクトが進行中である。
- 奉仕活動や親睦活動について会員が要望や意見を述べる機会を設けている。
- ロータリーの重点分野に沿った奉仕プロジェクトを実施している。
- 奉仕プロジェクトのためにロータリーの補助金を申請／活用した。
- 毎年少なくとも一人の会員がロータリー財団補助金管理セミナーに出席している。
- ロータリー財団に寄付している。
- ロータリー財団委員長と奉仕プロジェクト委員長がいる。

コメント欄

人びととつながりながら奉仕活動ができることは、ロータリーの大きな魅力の一つです。親睦と奉仕活動に参加できる機会が少なければ、退会につながるリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
奉仕の機会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ インターアクトクラブをスポンサー／RYLAを実施／奨学金を提供／青少年交換に参加／ロータリー行動グループに参加／ロータリー平和センターを支援する。 ⊕ ロータリーの新世代交換プログラムを会員に紹介する。
プロジェクトの質	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「地域調査の方法」と「グローバル補助金ガイド」を参照して、プロジェクトの質を高める。 ⊕ 奉仕プロジェクトについて財団専門家グループのメンバーに相談する。 ⊕ クラブが実施した奉仕プロジェクトの評価を行い、今後もそのプロジェクトを続けていくかどうかを判断する。
親睦	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 親睦を目的とした行事を担当する会員を1～2名決める。 ⊕ ロータリー親睦活動グループに参加する。 ⊕ 異なる時間帯や形式のさまざまな行事を見つける、または実施する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員がリーダーシップスキルを磨き、発揮できるようにする。ラーニングセンターのコースカタログにある専門能力開発のコースを会員に紹介する。 ⊕ 新会員や若い会員にリーダー職に任命する。

会員増強



健康的なクラブは、変化しながら成長します。会員の多様な考え方や経験は、革新を促し、地域のニーズを見極める上で欠かせないものです。ロータリーが実施した調査によると、よくある退会理由の一つとして「リーダーが新しいアイデアに耳を傾けてくれない」というものがあります。会員の意欲を高めるには、クラブに対して会員がどう感じているのかに注意し、方針や方向性を定める際に会員の声を取り入れることが重要です。ロータリークラブ・セントラルで、クラブの会員増強の傾向と最新の統計を見てみましょう。

- 過去1年間に会員が純増した。
- 過去1年間に多様な会員（女性会員、若い世代の会員など）が純増した。
- 民族や人種という点で地域社会の多様性を反映している。
- まだ会員がいない職業分類での入会促進に力を注いでいる。
- 新会員の入会式とオリエンテーションを実施し、情報資料や参加の機会を提供している。
- ロータリー学友（元ローターアクター、元青少年交換学生、元平和フェロー、ほかのプログラムの元参加者）のかかわりを積極的に促している。
- 各会員の貢献への感謝やねぎらいを示している。
- 毎年、少なくとも90%の会員を維持している。
- 会員の少なくとも75%が、奉仕プロジェクトに直接参加したり、リーダー的役割、そのほかのクラブの役割にかかわっている。
- クラブに紹介された入会候補者情報を確認し、候補者に連絡する担当者を決めている。
- 新会員と既存会員の両方に対し、会員であることの恩典を説明している。
- 先輩会員が新会員とペアになって助言や指導を行う仕組み（メンタリング）を取り入れている。
- 職業や関心事について会員が例会で卓話をする機会を設けている。
- クラブ会員増強委員会があり、入会と会員の参加促進に取り組んでいる。
- 会員をもった地区行事やロータリー関連セミナーに会員が出席している。

コメント欄



多様性を欠くクラブは、時代に沿わない退屈な場所となり、会員や地域社会にとって価値が少ない存在となる危険性があります。ロータリーは、会員基盤の成長に役立つさまざまなツールや資料を提供しています。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
会員の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員の多様性調査を活用して、多様な会員の入会を促進する。 ⊕ 多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) へのロータリーのコミットメントと取り組みについて学ぶ。
職業の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 専門能力開発のための各種コースを推奨することで、会員のスキルアップを図る。
会員数の停滞や減少	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員増強計画を立てる。 ⊕ 入会候補者を見つけ、候補者情報を管理する方法を学ぶ。 ⊕ 入会候補者情報ワークシートを使って入会候補者の情報を集める。 ⊕ 新会員を推薦する方法を会員に説明する。また、ほかのクラブに入会者を紹介できることを説明する。 ⊕ 例会以外にもロータリーに参加できる数多くの方法があることを伝える。
会員の退会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員満足度調査を実施して、クラブに対する会員の満足度を測る。 ⊕ 会員維持調査を実施して、退会の傾向や関心維持の方法を探る。 ⊕ 退会者アンケートを活用して退会理由を理解し、改善に取り組む。 ⊕ 退会する会員に対し、再入会や移籍の選択肢があること、また退会後も連絡を取り続けることができることを伝える。 ⊕ 二重会員となることを検討するようローターアクターに奨励する。
オリエンテーションとロータリーの知識	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新会員のためのオリエンテーションと専門能力開発の機会を提供し、ロータリーのラーニングセンターの活用を勧める。

公共イメージ



楽しみながら地域に貢献しているクラブは、会員が活発になるだけでなく、入会候補者の目にも魅力的に映ります。地域社会や入会候補者との関係を築く上で、クラブのイメージはとても重要です。奉仕活動を実施する際にはクラブへの認知度アップを意識し、クラブが地域に根ざしてニーズに取り組んでいることをアピールしましょう。

- 魅力的なデザインのウェブサイトをつくり、クラブの活動や入会のメリットなど公共向けの情報を発信している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントがあり、クラブの活動とそのインパクトを紹介している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントは、幅広い人にリーチしている。
- 昨年、地元メディアで数回にわたりクラブが取り上げられた。
- 地元メディアを通じてクラブやロータリーを紹介している（テレビ、ラジオ、広告など）。
- 奉仕活動にメディア関係者を招き、報道してもらっている。
- クラブで使用している資料は、ロータリーのブランドガイドラインに沿っている。
- 行動人としての会員の姿を示すために、ロータリーのブランドリソースセンターにある素材やテンプレートを活用している。
- 国際ロータリーから提供される広報用素材（公共奉仕広告、動画、写真、ロゴなど）を活用している。
- 例会場、奉仕プロジェクト、イベント会場にロータリー／ローターアクトの標識やクラブのバナーを掲げている。
- 地域社会でクラブの存在が知られている。
- クラブが地域社会にもたらしているインパクトを紹介したパンフレットを作り、地元の人びとや入会候補者に渡している。
- マーケティングや広報の専門知識をもった会員がいる。
- 例会や活動に参加したゲストや市民に好ましい体験をしてもらうことで、ロータリーの公共イメージを向上させている。
- クラブ公共イメージ委員会があり、イメージ向上と広報に取り組んでいる。

コメント欄



地元での認知度が高ければ高いほど、奉仕活動の効果が高まり、活動に対する人びとの反応も好ましいものとなります。ロータリーのさまざまなリソースをクラブの公共イメージ向上に役立てましょう。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
地域での認知度	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーのプレスセンターにあるリソースを地元メディアに紹介する。 ⊕ 認知度アップにつながるようなイベントを企画する（ロータリーのブランドリソースセンターにある「イベント計画ガイド」を参照）。
古くなった資料	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーのブランドリソースセンターから利用可能なテンプレートを使い、クラブのパンフレットをつくる。 ⊕ 「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドに沿って資料を作成する。 ⊕ 資料やコミュニケーションを作成する際に、ロータリーの動画や独自の写真を活用する。
オンライン上の存在感	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインツールに強い会員を見つけ、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを管理してもらう。 ⊕ ラーニングセンターで「ロータリーブランド」のコースを利用する。 ⊕ ロータリーの動画や独自の写真・動画を活用する。 ⊕ ロータリーのソーシャルメディアキットを活用して、オンラインでのクラブの存在感を強める。
マーケティング・広報	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「クラブ公共イメージ委員会の基本」からアイデアを得る。広報の経験がある会員を広報委員会に任命する。 ⊕ 入会候補者情報ワークシートを活用して、広報やマーケティング分野の新会員を募る。 ⊕ ブランドリソースセンターにあるソーシャルメディアキットを利用して、クラブのソーシャルメディアを効果的に活用する。

運営



クラブの未来についてリーダーが真剣に考えているクラブは、円滑に運営され、成長していくものです。元気なクラブづくりにおいては、リーダーの育成、戦略計画の立案、引継ぎ計画が極めて重要となります。

- 戦略計画があり、定期的に更新している。
- 年次目標を定め、これをロータリークラブ・セントラルに入力している。
- ロータリー賞の受賞に向けて努力し、頻繁にロータリー賞を受賞している。
- クラブ理事会が少なくとも四半期に一度会合し、クラブ戦略計画の見直しや、目標に向けた進捗の確認、(必要に応じて) 細則その他の資料の調整を行っている。
- 理事会は、改善すべき点には随時変更を取り入れ、これに基づいてクラブ細則を更新している。
- 将来のリーダーを見つけ、育成するプロセスを確立している。これには、各役職に就くための研修、文書や記録の引き継ぎ、現・元・次期役員による合同決定などが含まれる。
- 会長がPETSに出席し、そのほかの役員やリーダーも地区研修・協議会に出席している。
- クラブのリーダーはMy ROTARYを活用してロータリーの手続きを行っている。
- 12月31日までに次期役員を選び、2月1日までに国際ロータリーに報告している。
- 幹事は、新会員の入会后30日以内にこれを報告している。
- 次年度予算の作成と承認を行い、会計を任命し、運営と寄付(または奉仕プロジェクトの資金)のための口座をそれぞれ別個に設けている。
- 募金目標を定め、さまざまな募金活動を通じてこの目標を達成している。
- 毎年、会員満足度調査への記入を会員にお願いし、その結果をクラブに反映させている。
- 会員の半数以上がMy ROTARYにアカウント登録している。
- クラブ管理運営委員会がある。

コメント欄



リーダーのスキルや熱意が足りない、または会員のニーズが考慮されないクラブでは、会員の意欲や活動の効果が薄れ、時代遅れとなり、会員の減少を招くこととなります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
戦略計画と目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「戦略計画ガイド」を活用して、クラブのビジョンを描き、長期目標と年次目標を立てる。 ⊕ ロータリークラブ・セントラルで設定した目標の半分以上を達成してロータリー賞の受賞を目指す。 ⊕ ローターアクトクラブはロータリー賞の目標と達成のワークシートを活用する。 ⊕ クラブ理事会だけでなく、クラブ全体にとって意義のある目標を選ぶ。 ⊕ 会員増強ガイドを活用して、会員増強計画を立てる。
革新性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新しい会員種類（家族会員など）を導入した場合は、これを反映させるためにクラブ細則を修正する。 ⊕ 「クラブの種類・形式・モデル」の資料を参照し、会員に提供できる体験について検討する。
手続き	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新会員の入会とオリエンテーション、紹介された入会候補者への連絡、新会員の推薦、リーダーシップの引継ぎなど、諸々の標準手続きを定める。 ⊕ 会員満足度アンケートを活用する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインのラーニングセンターでクラブリーダー向けの学習プランを利用し、アイデアや情報を得る。 ⊕ リーダーシップ研修を実施し、ラーニングセンターの専門能力開発のための各種コース利用を奨励する。
資金管理	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「クラブロータリー財団委員会の基本」のオンラインコースを利用し、寄付の選択肢について学ぶ。 ⊕ 「クラブ会計の基本」でベストプラクティスを学ぶ。
My ROTARYでのクラブ管理	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ My ROTARYの「クラブの運営」のセクションから各種レポートを見たり、会員情報の追加・更新・削除を行ったり、入会候補者の情報を管理したりする。（留意点：ローターアクトの場合、My ROTARYの「クラブの運営」ページを利用できるのはクラブ会長のみとなります。）

次のステップ



「クラブの健康チェック」は、元気なクラブづくりの第一歩です。印が最も多くついた分野、最も少なかった分野を確認し、これを基にクラブの健康診断をして、対処方法を検討しましょう。病院では、健康診断で医者がアドバイスをし、問題があれば薬を処方してくれます。このアドバイスを無視したり、処方薬を飲まなかったりすれば、せっかくの健康診断も意味がありません。これと同じように、診断結果を真剣に受け止め、対処方法を考えて、問題のある分野に早めに取り組みましょう。

ポール・ハリスは次のように述べました：「願わくは、私たちの幸せがさらなる奉仕をもたらすように」。地域社会とそのニーズは時代とともに変化し、ロータリークラブが地域に貢献し続けるには、この変化に対応する必要があります。クラブの健康を定期的にチェックし、常に新鮮な気持ちで元気なクラブづくりを心がけましょう。

次のステップ

1. 各セクションのスコアを以下に記録してください。印のついた一項目につき、1ポイントとなります。

カテゴリ	スコア
クラブでの経験	
奉仕と交流	
会員増強	
公共イメージ	
運営	

2. 最もスコアの低かったカテゴリをご覧ください。「処方箋」に提案されている対処方法を、どのように実行できるでしょうか。次のステップを以下に記入してください。

実行項目	実行スケジュール	責任者

役立つリソース

[クラブ計画アシスタンス](#)

[会員増強のための評価ツール](#)

[会員増強のリソース](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ラーニングセンター](#)



My ROTARY のアカウントを 作成する方法



アカウントの作成

my.rotary.org を
開きます

A screenshot of the My ROTARY website. The page features a header with the Rotary logo and navigation links. The main content area has a large image of a woman and children, with the text "My ROTARYへようこそ" and "ログイン/アカウント登録すればパーソナライズされたMy ROTARYをご利用いただけます". Below this, there are two buttons: "ログイン" and "アカウント登録". A red box highlights the "アカウント登録" button, with a callout bubble pointing to it containing the text "「アカウント登録」をクリック". At the bottom, there are three links: "ロータリークラブ・セントラル", "補助金センター", and "会員・財団に関するレポート".

Rotary.org | ブランドリソースセンター | 日本語 | ログイン | アカウント登録

Rotary | My ROTARY | ご寄付 | 入会・参加の方法

My ROTARYへようこそ
ログイン/アカウント登録すればパーソナライズされたMy ROTARYをご利用いただけます

ログイン | **アカウント登録**

「アカウント登録」
をクリック

ログインして簡単にリソースにアクセス

ロータリークラブ・セントラル | 補助金センター | 会員・財団に関するレポート

アカウントを作成

「アカウントを作成」の欄に入力

既にMy ROTARYのアカウントをお持ちですか? [ログイン](#) >

名*

JII

姓*

Rotarian

Eメール*

jiirotarian@test.com

あなたは18歳以上ですか?*

はい

いいえ

あなたはアカウントを作成することで利用規約とプライバシーの方針に同意したものとみなされます。



続ける

「私はロボットではありません」のボックスにチェックマークをつけ、「続ける」をクリック。アカウントの有効化を完了するためのリンクが記載された E メールが送信されます。

アカウントの有効化

アカウントを有効化

アカウントを有効にするために、パスワードとセキュリティの質問をご入力ください。

あなたのパスワード：

- 8字以上としてください
- 小文字を少なくとも1字含めてください
- 大文字を少なくとも1字含めてください
- 数字を少なくとも1字含めてください
- ご自分のEメールアドレスの一部を含めることはできません

セキュリティの質問への答え：

- 4字以上とする必要があります
- パスワードの全体を含めることはできません
- セキュリティの質問の一部を含めることはできません
- Eメールアドレスの全体を含めることはできません

パスワード*

パスワードを再入力*

セキュリティの質問*

答え*

あなたはアカウントを作成することを確認の上、プライバシーポリシーを承認してください。

続ける

Eメールに記載のリンクをクリックすると、このページが開く。

これらの欄に入力し、「続ける」をクリック

Sign in

Login email address

Password

Remember me

Sign in

Need help signing in?

上記で入力した自分のEメールアドレスと作成したパスワードを入力し、「ログイン」をクリック

次に、会員状況に基づいてアカウントをカスタマイズします。

会員としての状況

会員としての状況をお知らせください。

以下からお選びください。*

- ロータリークラブの現会員または元会員
- ローターアクトクラブの現会員または元会員
- ロータリークラブもローターアクトクラブも会員になったことはない

留意：ロータリークラブとローターアクトクラブの両方に所属して

続ける

会員としての状況を選択し、「続ける」をクリック

